

暮 ら し づ く り

令和 5 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	1 暮らしを支える拠点地区の充実
施策の将来の目標像	各拠点地区の役割に応じた機能が適正に配置され、様々な機能が集積される都市拠点を中心として、拠点間が相互に連携し合いながら、地域の生活・にぎわい・交流を支える拠点地区が形成されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	居住誘導区域内の人口密度	西条・八本松・志和・高屋 50.1人/ha、黒瀬 48.7人/ha、河内 16.2人/ha、安芸津 23.3人/ha*住民基本台帳	西条・八本松・志和・高屋 52.0人/ha、黒瀬 現状維持、河内 現状維持、安芸津 現状維持*住民基本台帳
	空き家バンク登録件数	23件 *累計実績値	150件 *累計実績値

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 良好な市街地形成の推進	主管部局・所属	都市部 都市計画課
関係部局・所属	都市部 都市整備課	都市部	区画整理課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	都市の成長が持続され、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、各拠点地区の特性に応じて都市機能を集積するとともに、安全・安心な都市環境の形成により、良好な市街地の形成を図る。	現状	狭隘な道路や無秩序な開発など、安全・安心な都市環境が形成されていない。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
市街地の防災・減災機能を向上させるインフラの整備が不十分	JR駅周辺のまちづくり		高	1
安全・安心な憩いの場が不足している	安全・安心な憩いの場となる公園づくり		中	2
無秩序な宅地化が進展している	拠点地区周辺の市街地整備の取組み		低	3
市街地において必要な生活機能の集約が図られていない	まちづくりに関する総合的な計画策定		低	4

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(ア) 市街地整備事業区域内人口 (西条第二地区内の人口)	8,259 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	10,039	10,541	11,000	11,000 (R6)	人
(イ) 各拠点地区周辺の人 口 (合計)	36,696 (H30)		38,948	39,532	40,124	43,870 (R12)	人
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	4年度	2,482,596				
		906,821				
	5年度	1,546,583				
		724,276				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R4 当初予算額	R5 当初予算額
				R4 決算額	R5 決算額
1-1	14・1・1 八本松駅前土地区画整理事業	区画整理課	5.00	1,353,027	808,720
1-2	8・5・3 八本松駅前土地区画整理関連公共事業	区画整理課	3.00	617,860	243,360
1-3	8・5・3 八本松駅前地区区画事業	区画整理課	2.50	199,038	199,538
2-1	8・5・4 公園整備事業	都市整備課	3.00	180,600	180,600
3-1	8・5・5 西条第二地区地区計画整備事業	都市整備課	4.00	80,903	79,180
4-1	8・5・1 都市計画推進事業	都市計画課	2.50	51,168	35,185
合計			20.00	2,482,596	1,546,583

7 R5事業費の分析（差額＝「R5年度当初予算額」－「R5年度決算額」） ※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R5成果指標の分析（成果指標の平均達成率）

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	1 暮らしを支える拠点地区の充実	① 良好な市街地形成の推進

事業の概要				
戦略	1 JR駅周辺のまちづくり	予算	1,251,618 千円	前年度 2,169,925 千円
事務事業	1-1 八本松駅前土地区画整理事業 【特会】	予算	808,720 千円	前年度 1,353,027 千円

内容

1-1_八本松駅前土地区画整理の推進

八本松駅周辺の狭隘な幹線道路、生活道路や住環境を一体的に整備し、良好な都市環境を形成するため、土地区画整理事業による市街地整備を行う。

施行面積	10.6ha
総事業費	7,512 百万円
平均減歩率	34.67%
保留地面積	3,647.26m ²

① 物件移転補償・調査等 (438,400 千円 (前年度 1,280,500 千円))

土地区画整理事業の移転計画に則り、移転が必要となる建物等の補償や調査等を行う。

② 造成工事 (295,000 千円 (前年度 65,000 千円))

土地区画整理事業の移転計画に則り、造成工事を行う。

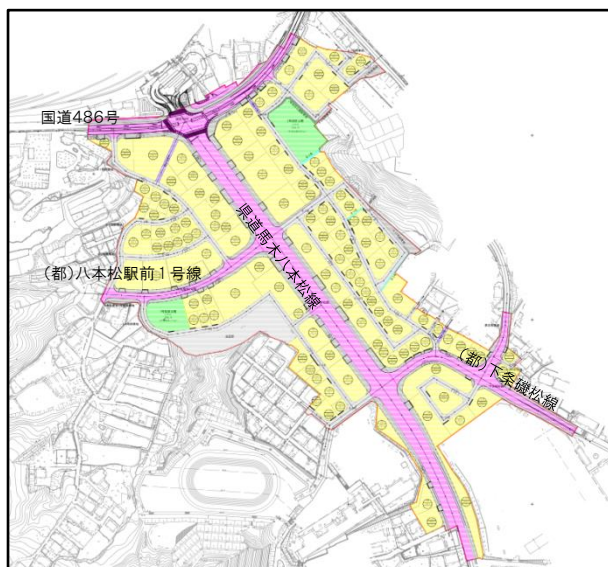
【活動指標】

土地区画整理事業 進捗率 42% (事業費ベース)

■ 事業スケジュール

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7以降
事業概要			補償			
				工事		
						換地計画・換地処分

■ 事業概要図



事業の概要					
戦略	1	J R 駅周辺のまちづくり	予算	1,251,618 千円	前年度 2,169,925 千円
事務事業	1-2	八本松駅前土地区画整理関連公 共事業	予算	243,360 千円	前年度 617,860 千円

内容

1-2_八本松駅前土地区画整理に関する公共施設の整備

土地区画整理事業と関連し、地区内の雨水排水施設や公園等を整備することで、良好な住環境の形成を図る。

- ① 雨水管渠整備（141,000 千円）
土地区画整理事業に関連する雨水管渠の整備等を行う。
- ② 污水管渠整備（80,000 千円）
土地区画整理事業に関連する污水管渠の整備等を行う。

【活動指標】

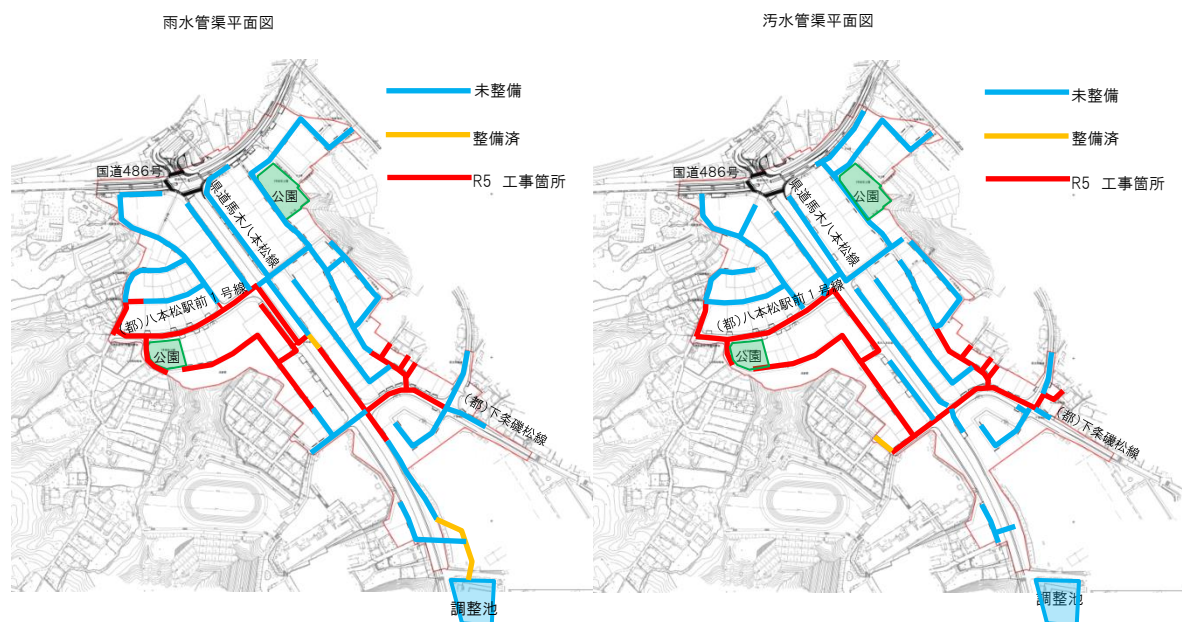
雨水管渠整備率 11%（事業費ベース）

污水管渠整備率 10%（事業費ベース）

■事業スケジュール

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7以降
事業概要				工事		
				(雨水管渠等)	→	→
				工事		
				(污水管渠等)	→	→

■事業概要図



事業の概要					
戦略	1	JR 駅周辺のまちづくり	予算	1,251,618 千円	前年度 2,169,925 千円
事務事業	1-3	八本松駅前地区計画事業	予算	199,538 千円	前年度 199,038 千円

内容

1-3_八本松駅周辺の公共施設の整備

土地区画整理事業区域の西側などで幹線道路等社会資本の整備を行うとともに、地区計画による民間活力を活かしたまちづくりを進めることで、隣接する土地区画整理事業と併せ、より魅力的な市街地の形成を図る。

- ① 八本松駅前1号線道路改良（151,000 千円（前年度 178,500 千円））
八本松駅前1号線の道路改良工事・補償を行う。
- ② 地区計画等測量設計業務（33,000 千円（前年度 20,000 千円））
八本松駅周辺において地区計画等の検討を行う。

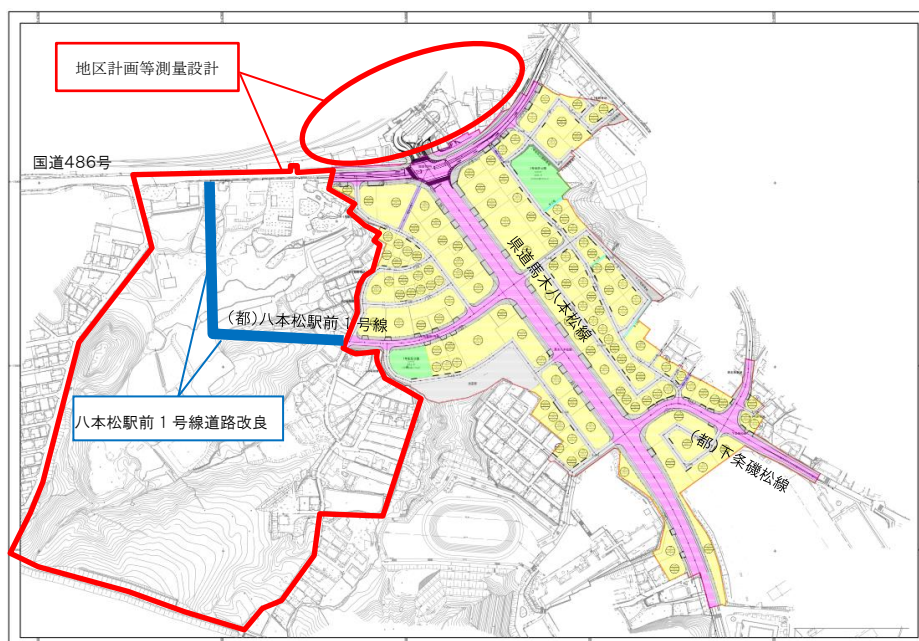
【活動指標】

八本松駅前1号線整備率 66%（事業費ベース）

■事業スケジュール

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7以降
事業概要				工事 八本松駅前1号線1工区		→
				工事 八本松駅前1号線2工区		→
				地区計画等測量設計		→

■事業概要図



事業の概要					
戦略	2	安全・安心な憩いの場となる公園づくり	予算	180,600 千円	前年度 180,600 千円
事務事業	2-1	公園整備事業	予算	180,600 千円	前年度 180,600 千円

内容

2-1_都市公園等の整備

安全で快適な公園づくりを行うことで良好な都市環境の形成を図る。

① 東広島運動公園の整備（うち 147,000 千円（前年度 101,000 千円））

心の潤いや安らぎを与える休養・休息の場、スポーツやレクリエーション活動により健康で健全な育成の場として、また災害時における避難場所としての効果や機能を有する東広島運動公園の整備を行う。

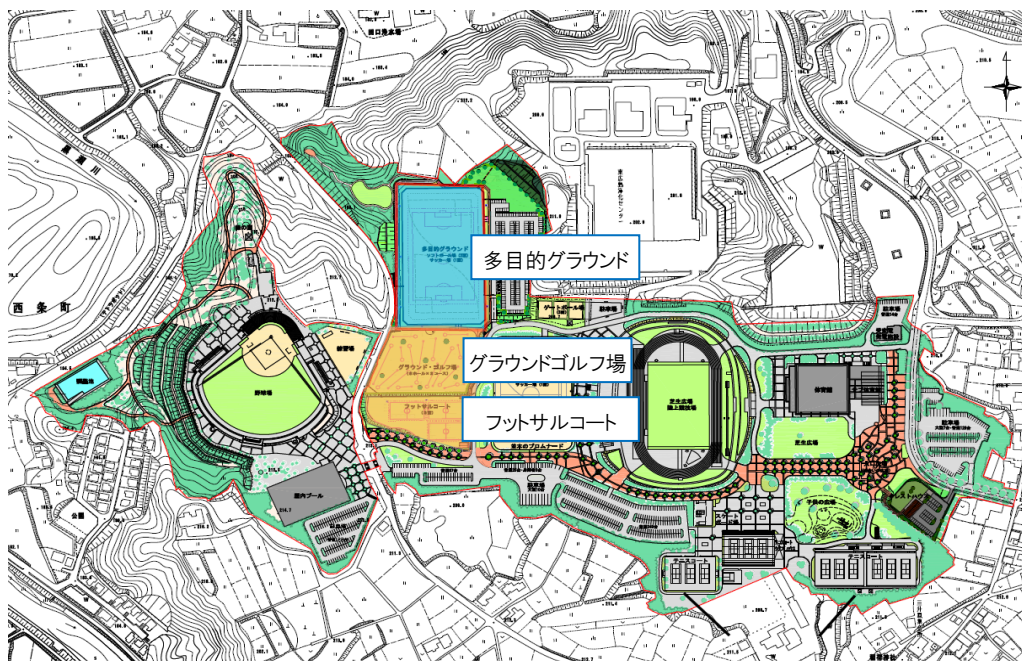
令和3～7年度で、多目的グラウンド、グラウンドゴルフ場、フットサルコートを整備する。

【活動指標】 フットサルコート整備 進捗率 66.6%（事業費ベース）

■事業スケジュール

年度	R3	R4	R5	R6	R7
整備箇所					
多目的グラウンド	→				
グラウンドゴルフ場	→				
フットサルコート		→			

■事業概要図



事業の概要

【新】② 是国近隣公園駐車場の整備（うち 5,500 千円）

是国近隣公園の利便性向上のため駐車場を整備する。

【活動指標】 駐車場整備 100%

■事業概要図

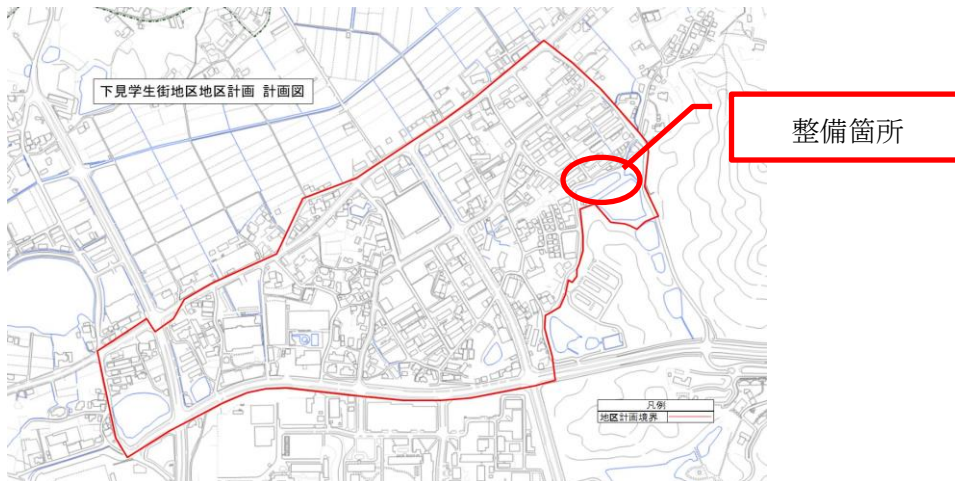


【新】③ 下見学生街地区公園の設計（うち 12,500 千円）

下見学生街地区地区計画で位置付けられている公園整備を行うため詳細な設計を行う。

【活動指標】 詳細設計 100%

■事業概要図



【新】④ 公園整備アクションプランの作成（うち 15,000 千円）

令和4年度に緑の基本計画が策定されたこと受け、公園の不足する地域に対し必要な公園数や規模などの整備指標、概算工事費等の算出を行うための業務を行う。

【活動指標】 公園整備計画の策定 100%

事業の概要					
戦略	3	拠点地区周辺の市街地整備の取組み	予算	79,180千円	前年度 80,903千円
事務事業	3-1	西条第二地区地区計画整備事業	予算	79,180千円	前年度 80,903千円

内容

3-1_西条第二地区の整備

西条中心部に近接する西条第二地区において、良好な都市環境を形成するため、地区計画道路を整備し、良好な交通環境の形成を図る。

① 地区計画道路の整備 (79,180千円 (前年度 80,903千円))

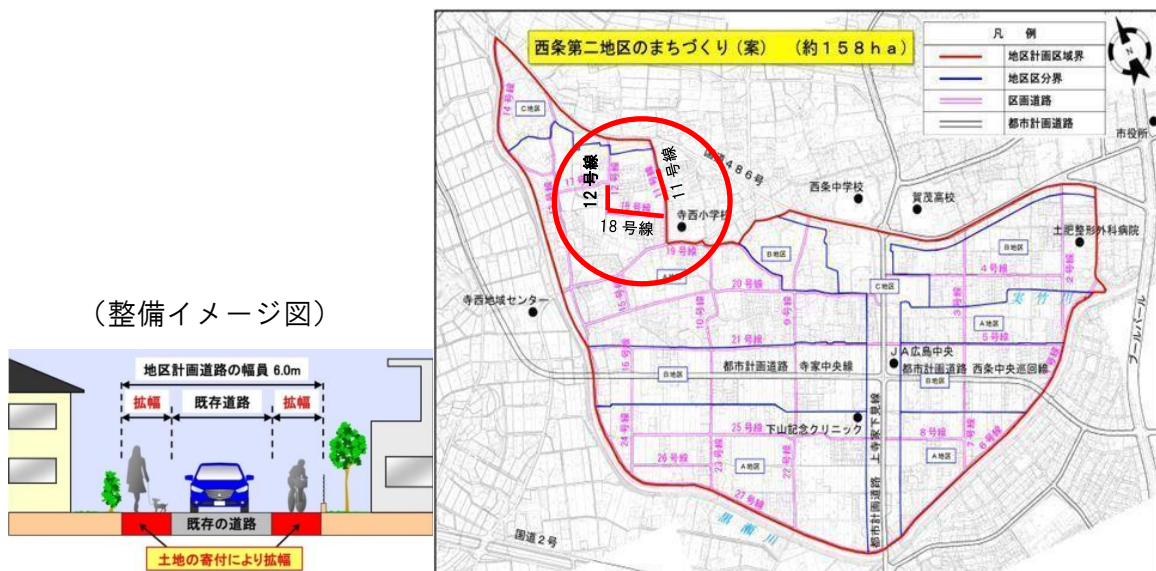
西条第二地区内の地区計画道路 27 路線を整備し、狭隘な道路の解消、安心・安全な交通網の整備と良好な居住環境の形成を図る。

【活動指標】 道路改良 3 路線 進捗率 30% (事業費ベース)

■事業スケジュール

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7以降
西条第二地区 地区計画道路	27 路線					
				3 路線 12号線・11号線・18号線		

■事業概要図



事業の概要					
戦略	4	まちづくりに関する総合的な計画策定	予算	35,185 千円	前年度 51,168 千円
事務事業	4-1	都市計画推進事業	予算	35,185 千円	前年度 51,168 千円

内容

4-1_都市計画の推進

① 都市計画事業等の取組み（27,185 千円（前年度 41,168 千円））

健康で文化的な活力ある地域づくりのため、土地利用やまちづくりの方策等を調査検討するなど、都市計画行政の関連事務を実施する。

② 逆線引きの取組み（8,000 千円（前年度 10,000 千円））

度重なる豪雨災害により甚大な被害が発生していることから、災害リスクの高い区域における都市的土地利用を抑制するため、市街化区域内の土砂災害特別警戒区域を市街化調整区域へ編入する「逆線引き」を進めていく。なお、逆線引きの実施については、市街化区域縁辺部かつ建築物がない箇所から段階的に進める。

※逆線引き・・・市街化区域から市街化調整区域へ見直しを行うこと

【活動指標】

素案に盛り込む逆線引きの箇所数：先行的実施の約 50 箇所

■先行的実施のスケジュール（予定）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
逆線引きに係る地元調整等	● →		
市街化区域編入等に係る要望受付 広報（9月広報）、ホームページ	● → 要望受付9月～1月		
素案作成	● →		
関係機関協議、法定図書等の作成		● →	→
説明会、縦覧 都市計画審議会、変更告示			● →

令和 5 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	1 暮らしを支える拠点地区の充実
施策の将来の目標像	各拠点地区の役割に応じた機能が適正に配置され、様々な機能が集積される都市拠点を中心として、拠点間が相互に連携し合いながら、地域の生活・にぎわい・交流を支える拠点地区が形成されています。		
施策の数値目標	指標	現状値(H30年度)	目標値(R6年度)
	居住誘導区域内の人口密度	西条・八本松・志和・高屋 50.1人/ha、 黒瀬 48.7人/ha、河内 16.2人/ha、 安芸津 23.3人/ha * 住民基本台帳	西条・八本松・志和・高屋 52.0人/ha、 黒瀬 現状維持、河内 現状維持、 安芸津 現状維持 * 住民基本台帳
	空き家バンク登録件数	23件 * 累計実績値	150件 * 累計実績値

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 住環境の整備・保全	主管部局・所属	都市部 住宅課
関係部局・所属	都市部	開発指導課	地域振興部 地域づくり推進課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	安全・安心に暮らせる良好な住環境の形成	現状	市内3,947件の空き家のうち、694件が老朽空き家となっている。 市営住宅963戸のうち、374戸が耐用年数を超えている。	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
管理不全空き家の増加は、安全性・公衆衛生・景観の悪化等、生活環境に影響を及ぼす可能性がある。	安全安心な住環境の実現		中	1
老朽化していく市営住宅を適切に維持管理していく必要がある。	適正な市営住宅ストックの実現		中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 空き家バンク登録件数の増加	14 (H29)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	110	130	150	150 (R6)	件
(4)	()					()	
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 4 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
			118,962			
			33,969			
	R 5 年度		130,867			
			37,293			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R4 当初予算額	R5 当初予算額
				R4 決算額	R5 決算額
1-1	8・6・1 空き家対策事業	住宅課	2.00	36,782	24,789
1-2	8・6・1 住宅指導事務	住宅課	2.00	3,728	26,672
2-1	8・6・2 市営住宅建設事業	住宅課	1.00	78,452	79,406
合計			5.00	118,962	130,867

7 R5事業費の分析（差額＝「R5年度当初予算額」－「R5年度決算額」）

※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R5成果指標の分析（成果指標の平均達成率）

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	1 暮らしを支える拠点地区の充実	② 住環境の整備保全

事業の概要					
戦略	1	安全安心な住環境の実現	予算	51,461 千円	前年度 40,510 千円
事務事業	1-1	空き家対策事業	予算	24,789 千円	前年度 36,782 千円

内容

1-1_空き家対策の推進

空き家の増加を抑制し、管理不全の空き家を減少させるため、空き家の状態に応じ、総合的な空き家対策を推進する。

空き家数	3,947 軒	(令和 3 年度調査)
空き家バンク登録数	129 件	(令和 4 年 10 月末時)

① 空き家の利活用の推進 (13,600 千円)

補助金の助成により空き家の利用活用を推進する。

- ア 相続登記に係る費用の助成(見込数 10 件、補助率 1/3 又は上限 10 万円)
- イ 改修費用の助成(見込数 15 件、補助率 1/3 又は上限 50 万円)

【拡】ウ 人口減少地域における改修費用補助の拡充(イの補助額に 30 万円を限度に上乗せ)

- エ 空き家に残った家財道具の処分費の助成(見込数 15 件、補助金額 10 万円 最大 15 万円まで)

- オ 地域活性化に寄与する空き家利活用のための取得・改修費用の助成(見込数 1 件、国庫補助、補助率 2/3 又は上限 300 万円)

- カ 補助制度や空き家の利活用を促進するため、FMラジオ等のメディアの活用や定住サポートセンターとの連携により広く情報発信する。



改修前



改修後



改修後

<空き家対策事業費補助金を活用した改修事例①>



改修前



改修後



改修後

<空き家対策事業費補助金を活用した改修事例②>

【活動指標】 空き家バンク登録件数：20 件

事業の概要

② 空き家の発生抑制、適正管理、除却等の推進（10,000千円）

補助金の助成により空き家の除却を推進する。

- ア 老朽空き家の解体費用の助成（見込数 20 件、補助率 1/3 又は上限 50 万円）
- イ 啓発用チラシ送付等行い、空き家の適正管理、除却等を促進する。
- ウ 納税義務者に送付する納税通知書に、「啓発用チラシ」を同封し送付する。
- エ 移住・定住の施策と連携した空き家の利活用、及び空き家の発生を抑制するための施策を検討する。



※出典：国土交通省HPより

＜老朽危険空き家事例＞

※出典：京都市HPより

事業の概要				
戦略	1	安全安心な住環境の実現	予算 51,461 千円	前年度 40,510 千円
事務事業	1-2	住宅指導事務	予算 26,672 千円	前年度 3,728 千円
内容				
<p>1-2_住宅の安全性などの質の向上の推進</p> <p>安全・安心で、良好な住環境の確保を図るための住宅施策を実施する。</p> <p>① 補助金の助成により民間木造住宅の安全性を向上させる。(12,493 千円) [社会資本整備総合交付金]</p> <p>ア 耐震診断費用の一部助成(見込数 5 件、自己負担金 1 万円)</p> <p>イ 耐震改修に係る費用の助成(見込数 1 件、補助率：対象工事費の 23% 又は上限 30 万円)</p> <p>ウ かけ地近接危険住宅の移転費用の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体・除却 上限 975 千円/件(見込数 5 件) ・借入金利子相当 上限額 7,318 千円/件(見込数 1 件) <p>【拡】② かけ地近接危険住宅移転促進のための助成制度を実施する。(12,000 千円)</p> <p>ア 移転費用の助成 上限額 3,000 千円/件(見込数 4 件)</p> <p>③ 広島県居住支援協議会や「ひろしま住まいづくり支援ネットワーク」に参加し、住宅に関する情報についてホームページ等を活用し発信する。</p>				

事業の概要					
戦略	2	適切な市営住宅ストックの実現	予算	79,406 千円	前年度 78,452 千円
事務事業	2-1	市営住宅建設事業	予算	79,406 千円	前年度 78,452 千円
内容					

2-1_市営住宅ストックの適切な管理

長寿命化計画に基づき住宅改善・長寿命化工事等を実施する。

① 市営住宅の予防保全（70,000 千円）〔社会資本整備総合交付金〕

ア 長寿命化工事に先立ち、既存不適格となっているエレベーターの改修工事を実施する。（市営寺西住宅 3 棟）



(改修前)



(改修後)

<老朽市営住宅事例①>



(改修前)



(改修後)

<老朽市営住宅事例①>

【活動指標】 既存不適格のエレベーター改修 100%

令和 5 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	2 安全で円滑な生活交通の充実
施策の将来の目標像	市民生活の利便性を高めるため、安全で円滑な移動が確保された地域公共交通体系が確立されているとともに、生活道路網が安定的に構築・整備され、適切な維持管理がなされています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R6年度)
	公共交通空白地域外の人口比率	82.7%	85.0%
	市道の整備率	57.8%	58.5%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 生活交通ネットワークの充実	主管部局・所属	地域振興部 地域政策課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民生活の利便性を高めるため、安全で円滑な移動が確保された地域公共交通体系が確立されている	現状	地域公共交通に対する満足度が低迷している		
課題		仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
地域公共交通が導入されているが利用率が低迷 地域公共交通が導入されていない空白地が存在		地域運行主体を明確にした 持続可能な移動手段の導入・維持・転換		中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 地域公共交通の展開数	4 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	5	7	7	7 (R6)	地域
(4)	()					()	
(5)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	R4年度	71,155				
		35,651				
	R5年度	105,076				
		67,441				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R4 当初予算額	R5 当初予算額
				R4 決算額	R5 決算額
1-1	2-1-7 地域公共交通対策事業	地域政策課	2.00	71,155	105,076
合計			2.00	71,155	105,076

7 R5事業費の分析（差額＝「R5年度当初予算額」－「R5年度決算額」）

※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R5成果指標の分析（成果指標の平均達成率）

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	2 安全で円滑な生活交通の充実	① 生活交通ネットワークの充実

事業の概要			
戦略	1 地域運行主体を明確にした持続可能な移動手段の導入・維持・転換	予算 105,076 千円	前年度 71,155 千円
事務事業	1-1 地域公共交通対策事業	予算 105,076 千円	前年度 71,155 千円

内容

1-1_地域公共交通の取組み

① コミュニティバスの運行 (73,319 千円 (前年度 59,755 千円))

ア コミュニティバスの運行管理・支援

(7) 豊栄そよかぜ号、安芸津海風バス、河内あゆピチふれあい号の運行管理 (うち 45,711 千円)

名称	運行開始日	運行概要
豊栄そよかぜ号	H21. 2. 1	5 路線 23 系統、週 2 日、1 日 4~8 便
安芸津海風バス	H21. 4. 1	3 路線 6 系統、週 2・4 日、1 日 4 便
河内あゆピチふれあい号	H22. 11. 1	1 路線 5 系統、週 2 日 (一部月~金)、1 日 4~7 便

(イ) 地域が主体で運行する黒瀬さくらバス、入野デマンド交通の運行支援 (うち 15,905 千円)

名称	運行開始日	運行主体	運行概要
黒瀬さくらバス	H26. 6. 23	黒瀬さくらバス 運行協議会	6 路線 6 系統、週 1~2 日、1 日 4 便
入野デマンド交通	R1. 11. 11	入野自治組織 の郷	週 6 日、最大 10 便/日

【活動指標】

- ・ R 5 年度 年間乗客数 14,795 人 (R 3 年度相当)

【拡】イ コミュニティバスの運行改善 (うち 11,703 千円)

地域での協議等の状況に応じて、運行改善・利用促進を行う。

② 交通空白地の解消に向けた取組み (30,813 千円 (前年度 10,489 千円))

【拡】ア 地域が主体となった公共交通の実証運行への支援 (モビリティ・マネジメントの推進) (うち 30,520 千円)

「志和地域」及び「小谷地域」において、各地域で作成する運行計画に基づいた実証運行に係る経費の支援など、運行組織への伴走支援を行う。

モビリティ・マネジメント

過度な自動車利用から、公共交通・自転車等を適切に利用する方向に自発的な変化を促す、コミュニケーションを中心とした交通施策。

事業の概要

③ 地域公共交通会議の運営（944 千円（前年度 911 千円））

地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため、道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の規定に基づく地域公共交通会議の運営事務を行う。

令和 5 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	2 安全で円滑な生活交通の充実
施策の将来の目標像	市民生活の利便性を高めるため、安全で円滑な移動が確保された地域交通体系が確立されているとともに、生活道路網が安定的に構築・整備され、適切な維持管理がなされています。		
施策の数値目標	指標	現状値（H29年度）	目標値（R6年度）
	公共交通空白地域外の人口比率	82.7%	85.0%
	市道の整備率	57.8%	58.5%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 市道、街路、国県道の整備・保全	主管部局・所属	建設部 道路建設課
関係部局・所属	建設部	道路建設課	建設部 維持課
	建設部	建設管理課	都市部 都市計画課
	都市部	都市整備課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	地域の实情に合わせた道路交通網の構築や、道路構造物の定期的な点検に基づく予防保全により、交通の利便性及び安全性の向上を図る。	現状	生活に身近な道路交通網の構築が求められている。また、道路環境が十分に整っていない箇所がある。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
老朽化していく道路等を適正に維持管理していく必要がある。	橋梁等道路施設の長寿命化		高	1
市街地内の良好な道路の骨格が十分でない。	都市計画道路の整備		高	2
老朽化していく道路等を適正に維持管理していく必要がある。	市道、その他市管理道路及び県道維持受託路線の維持修繕		中	3
国、県道を補完する道路網の構築が十分でない。安心・安全な自転車通行空間が十分に確保されていない。	都市計画道路以外の幹線市道の整備		中	4
地域生活に必要な国、県道の整備が十分でない。	県が整備する道路事業の促進		低	5
安全性や利便性を確保する生活に身近な道路が十分に整備されていない。	生活道路における緊急自動車等の安全な通行空間の整備		低	6

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 道路橋の補修数	0 (R2)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	30	27	13	131 (R8)	橋
(イ) 街路整備事業の進捗率(事業費ベース)	56 (R3)		65	75	81	100 (R11)	%
(ウ) 幹線・生活市道整備事業の執行率	45 (R3)		100	100	100	100 (R6)	%
(エ) 道路維持修繕費執行率	90 (R3)		100	100	100	100 (R6)	%

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 4 年 度	当初予算額	決算額	人件費
		一般財源	一般財源	
		4,149,033		
		2,048,806		
	R 5 年 度	4,038,569		
		2,201,701		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R4 当初予算額	R5 当初予算額
				R4 決算額	R5 決算額
1-1	8.2.2 橋梁長期保全事業	道路建設課	6.20	736,040	812,836
2-1	8.5.2 街路整備事業	都市整備課	3.00	876,136	572,867
3-1	8.2.2 道路維持修繕事業	維持課	9.50	1,384,030	1,370,385
3-2	8.2.2 県道維持事業	維持課	2.00	172,361	173,018
4-1	8.2.3 幹線市道整備事業	道路建設課	7.20	758,607	879,183
5-1	8.5.1 国・県道路整備事業	都市計画課	1.00	19,500	22,000
5-2	8.2.3 県道整備事業	道路建設課	0.70	0	94,780
6-1	8.2.3 生活市道整備事業	道路建設課	0.90	202,359	113,500
合計			30.50	4,149,033	4,038,569

7 R5事業費の分析（差額＝「R5年度当初予算額」－「R5年度決算額」） ※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R5成果指標の分析（成果指標の平均達成率）

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	2 安全で円滑な生活交通の充実	② 市道、街路、国県道の整備・保全

事業の概要				
戦略	1 橋梁等道路施設の長寿命化	予算	812,836 千円	前年度 736,040 千円
事務事業	1-1 橋梁長期保全事業	予算	812,836 千円	前年度 736,040 千円

内容

1-1_橋梁等道路施設の長寿命化

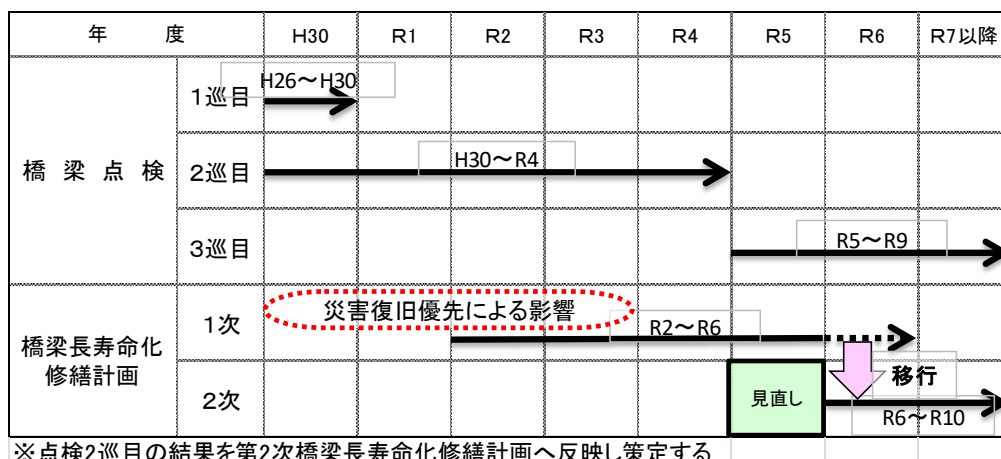
健全度Ⅲの橋梁について、長寿命化を図るとともに定期点検を行う。

- ① 道路橋の点検 (133,600 千円 (前年度 93,000 千円))
道路法認定道路橋の定期点検
 - ア 認定道路橋定期点検 313 橋
 - イ 跨線橋点検 2 橋
- ② 道路橋長寿命化修繕計画等 (16,000 千円 (前年度 11,000 千円))
道路橋長寿命化修繕計画の見直し
 - ア 橋梁長寿命化修繕計画策定業務
- ③ 道路橋補修 (655,200 千円 (前年度 622,200 千円))
道路法認定道路橋の補修実施
 - ア 御建跨線道路橋ほか 1 橋補修工事委託 2 橋
 - イ 御建跨線道路橋ほか 13 橋補修工事 14 橋
 - ウ 小規模橋梁補修業務 15 橋
- ④ アセットマネジメントシステム利用料等 (8,036 千円 (前年度 9,840 千円))

【活動指標】

進捗率 (第 1 次橋梁長寿命化修繕計画) 56.8%

■事業スケジュール



事業の概要					
戦略	2	都市計画道路の整備	予算	572,867千円	前年度 876,136千円
事務事業	2-1	街路整備事業	予算	572,867千円	前年度 876,136千円

内容

2-1_都市計画道路の整備

都市の骨格となる道路ネットワークの形成に向けた都市計画道路の整備を行う。

- ① 都市計画道路の整備（572,867千円（前年度 876,136千円））
 - ア 西条中央巡回線（寺家工区）[事業延長 580m、幅員 17m]
（うち 61,811千円）
 - イ 吉行泉線（2工区）[事業延長 460m、幅員 14m]（うち 168,393千円）
 - ウ 丸山榑原線 [事業延長 760m、幅員 16m]（うち 68,461千円）
 - エ 寺家中央線（1工区）[事業延長 578m、幅員 17m]（うち 155,731千円）
 - オ 寺家中央線（2工区）[事業延長 557m、幅員 17m]（うち 64,262千円）
 - カ 中島線 [事業延長 354m、幅員 9.25m]（うち 54,209千円）

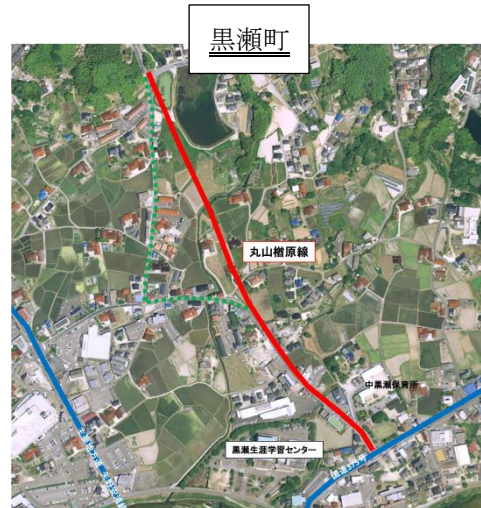
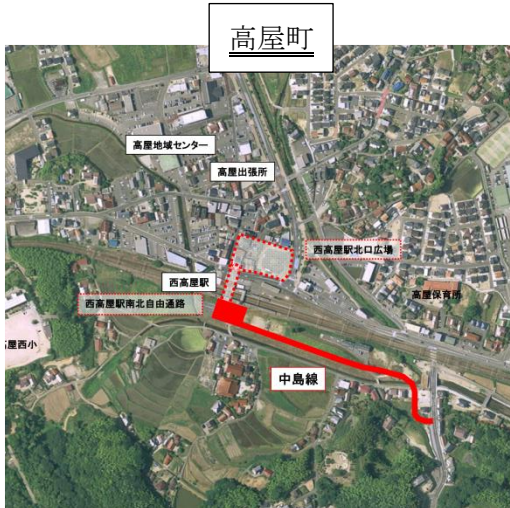
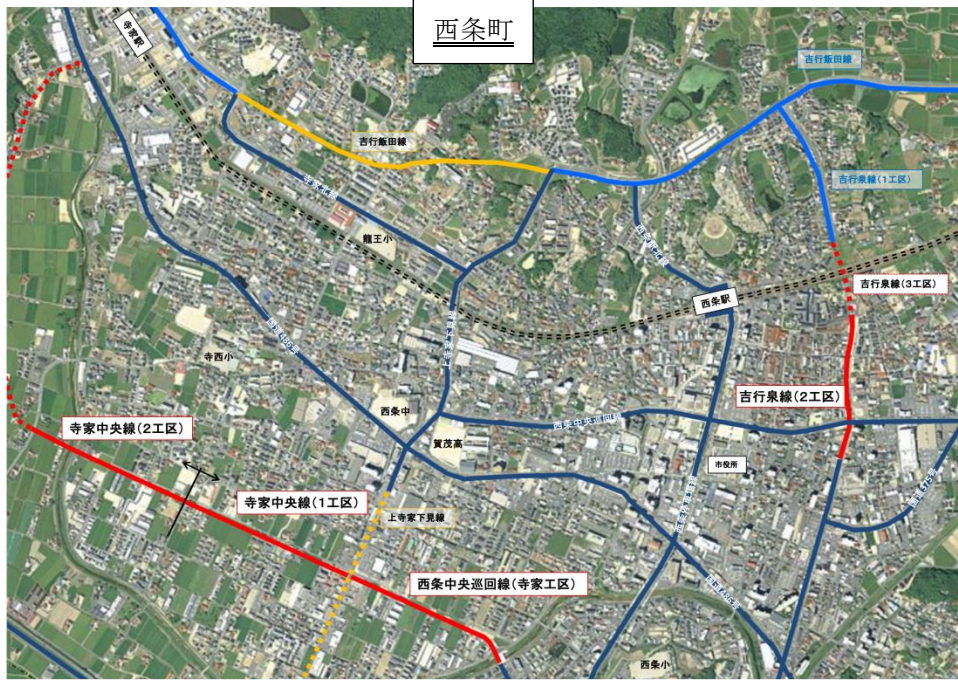
【活動指標】

路線名	内容	進捗率(事業費ベース)
西条中央巡回線 (寺家工区)	道路改良	95%
吉行泉線 (2工区)	道路改良 文化財調査	91%
丸山榑原線	道路改良	93%
寺家中央線 (1工区)	道路改良 用地取得、物件移転補償	93%
寺家中央線 (2工区)	設計業務	3%
中島線	道路改良 設計業務	72%

■事業スケジュール

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
西条中央巡回線 (寺家工区)			道路改良						
吉行泉線 (2工区)			道路改良 文化財調査						
丸山榑原線			道路改良						
寺家中央線 (1工区)			道路改良 用地取得、物件移転補償						
寺家中央線 (2工区)		事業認可取得	設計業務						
中島線			道路改良 設計業務						

事業の概要



事業の概要																													
戦略	3 市道、その他市管理道路及び県道移譲路線の維持修繕	予算 1,524,023 千円	前年度 1,556,391 千円																										
事務事業	3-1 道路維持修繕事業	予算 1,370,385 千円	前年度 1,384,030 千円																										
内容																													
<p>3-1_市道、その他の市管理道路の維持修繕</p> <p>一般交通に支障を及ぼさないよう、道路を維持する。</p> <p>① 道路の維持修繕 (1,230,581 千円 (前年度 981,558 千円))</p> <p>ア 年間委託による維持修繕：19 地区 (うち 508,000 千円 (前年度 438,000 千円))</p> <p>イ 修繕工事 (うち 87,899 千円 (前年度 140,000 千円))</p> <p>ウ 改築工事 (うち 305,158 千円 (前年度 105,600 千円))</p> <p>エ 委託による街路樹の育成管理：4 件 (うち 100,000 千円 (前年度 100,000 千円))</p> <p>オ 委託による除草伐木 (うち 132,511 千円 (前年度 191,408 千円))</p> <p>カ 測量設計等業務 (うち 92,413 千円 (前年度 2,050 千円))</p> <p>キ 補償業務 (うち 4,600 千円 (前年度 4,500 千円))</p> <p>② 舗装修繕計画に基づく舗装修繕工事 (44,000 千円 (前年度 317,480 千円))</p> <p>③ 道路維持管理作業報償金の見直し (23,043 千円 (前年度 21,243 千円))</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業時間 2 時間以上 4 時間未満：350 円→380 円 作業時間 4 時間以上：700 円→760 円 <p>④ 維持管理作業用原材料費等 (72,761 千円 (前年度 63,749 千円))</p> <p>⑤ 維持修繕方針の検討</p> <p>【活動指標】</p> <p>進捗率 (第 1 次舗装維持修繕計画) 50.0%</p> <p>危険箇所の緊急・応急措置率 100.0%</p> <p>■事業スケジュール (舗装維持修繕計画)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">舗装維持修繕計画</td> <td>1次</td> <td colspan="4">災害復旧優先による影響</td> <td colspan="2">H30~R5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2次</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>見直し</td> <td>移行</td> <td>R6~R10</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新たな舗装点検結果を第2次舗装維持修繕計画へ反映し策定する</p>				年 度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7以降	舗装維持修繕計画	1次	災害復旧優先による影響				H30~R5			2次					見直し	移行	R6~R10
年 度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7以降																					
舗装維持修繕計画	1次	災害復旧優先による影響				H30~R5																							
	2次					見直し	移行	R6~R10																					

事業の概要			
戦略	3	市道、その他市管理道路及び県道移譲路線の維持修繕	予算 1,524,023 千円 前年度 1,556,391 千円
事務事業	3-2	県道維持事業	予算 173,018 千円 前年度 172,361 千円
内容			
<p>3-2_県道移譲路線の維持修繕</p> <p>一般交通に支障を及ぼさないよう、県から移譲された県道を維持する。</p> <p>① 移譲対象 31 路線の維持修繕 (173,018 千円 (前年度 172,361 千円))</p> <p>年間委託による維持修繕</p> <p>【活動指標】</p> <p>危険箇所の緊急・応急措置率 100.0%</p>			

事業の概要				
戦略	4	都市計画道路以外の幹線市道の整備	予算 879,183 千円	前年度 758,607 千円
事務事業	4-1	幹線市道整備事業	予算 879,183 千円	前年度 758,607 千円

内容

4-1_幹線道路の整備

国、県道を補完する幹線道路の整備を行う。

- ① 道路改良工事 (434,600 千円 (前年度 350,000 千円))
 (仮称) 正力西1号線 ((仮称) 八本松スマート IC 整備事業)
 ほか 7 路線 [事業延長 5, 110m]
- ② 業務委託 (測量設計、用地測量、補償調査)
 (226,320 千円 (前年度 203,427 千円))
 椋坂志和西線ほか 10 路線 [事業延長 8, 265m]
- ③ 道路整備共同研究 (3,000 千円 (前年度 0 千円))
 広島大学との連携による道路整備計画の策定
- ④ 用地取得、物件補償等 (215,263 千円 (前年度 205,180 千円))
 土与丸御園宇線ほか 10 路線 [事業延長 8, 545m]

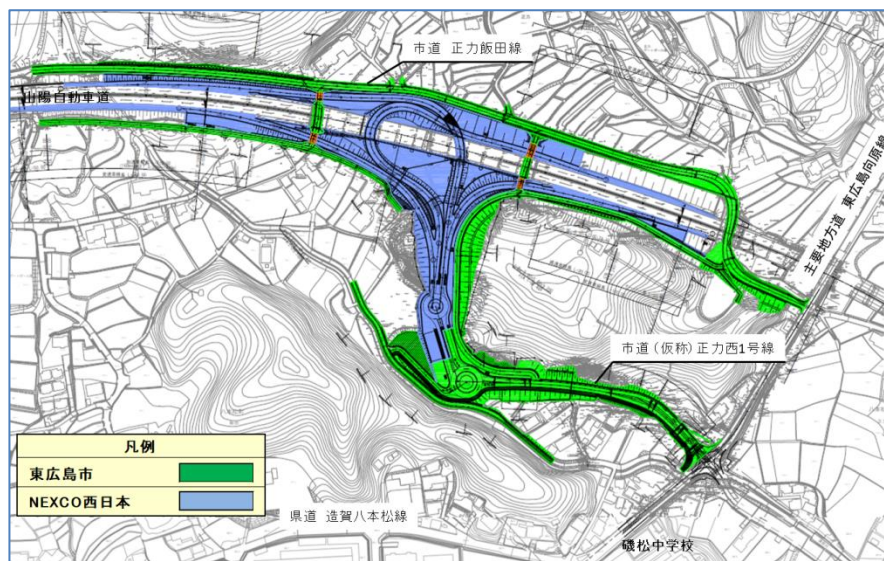
【活動指標】

- 工事着手 8 路線 (うち、3 路線については令和 6 年度債務負担行為)
- 業務委託 11 路線 (うち、2 路線については令和 6 年度～7 年度債務負担行為)
- 用地取得・物件補償 11 路線

■事業スケジュール ((仮称) 八本松スマート IC 整備事業)

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
(仮称)八本松スマートIC整備事業							供用開始予定
東広島市 (仮称)正力西1号線 正力飯田線	測量設計	測量設計 用地取得 文化財調査	工事 用地取得 文化財調査	工事			
NEXCO委託	測量設計	測量設計	標識設計	工事	工事	工事	

■事業概要図 ((仮称) 八本松スマート IC 整備事業)



事業の概要						
戦略	5	県が整備する道路事業の促進	予算	116,780 千円	前年度	19,500 千円
事務事業	5-1	国・県道路整備事業	予算	22,000 千円	前年度	19,500 千円
内容						
<p>5-1_国・県道路整備の促進</p> <p>安全で安心な移動空間を確保するため、広島県が事業を行う地域の生活に必要な道路整備を促進する。</p> <p>① 広島県が市内で整備する国県道に係る整備費の一部を、県条例の規定により負担 国道375号（御菌宇地区）ほか6路線</p>						

事業の概要																		
戦略	5	県が整備する道路事業の促進	予算	116,780 千円	前年度	19,500 千円												
事務事業	5-2	県道整備事業	予算	94,780 千円	前年度	0 千円												
内容																		
<p>5-2_県道の受託路線の整備</p> <p>県から受託した県道の整備を行う。</p> <p>① 道路改良工事（94,780 千円（前年度 0 千円）） 東広島向原線[事業延長 1,800m、幅員 5.0m]</p> <p>【活動指標】 東広島向原線の整備率 44.6%</p> <p>■事業スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(主)東広島向原線</td> <td>修正設計</td> <td>事業計画変更</td> <td>工事</td> <td>工事</td> <td>工事</td> </tr> </tbody> </table>							年度	R3	R4	R5	R6	R7以降	(主)東広島向原線	修正設計	事業計画変更	工事	工事	工事
年度	R3	R4	R5	R6	R7以降													
(主)東広島向原線	修正設計	事業計画変更	工事	工事	工事													

事業の概要				
戦略	6	生活道路における緊急自動車等の安全な通行空間の整備	予算 113,500 千円	前年度 202,359 千円
事務事業	6-1	生活市道整備事業	予算 113,500 千円	前年度 202,359 千円
内容				
<p>6-1_生活道路の整備</p> <p>日常生活において集落等を連絡する生活道路の整備を行う。</p> <p>① 道路改良工事（71,000 千円（前年度 175,000 千円）） 田口東 28 号線ほか 1 路線 [事業延長 480m]</p> <p>② 業務委託（測量設計、用地測量、補償調査） （34,000 千円（前年度 20,000 千円）） 上三永 12 号線ほか 5 路線 [事業延長 770m]</p> <p>③ 物件補償（8,500 千円（前年度 7,359 千円）） 御菌宇西 17 号線ほか 1 路線 [事業延長 410m]</p> <p>④ 事業化対象路線の検討 対象路線数 46 路線</p> <p>【活動指標】 工事着手 2 路線（うち、1 路線については令和 6 年度債務負担行為） 業務委託 6 路線 物件補償 2 路線</p>				

令和 5 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	3 快適な生活環境の形成
施策の将来の目標像	一般廃棄物の減量化と資源化等により循環型社会が構築されるとともに、市民の生活に不可欠な水の提供や公共用水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	市民一人1日当たりのごみ排出量	986g	850g
	汚水処理人口普及率	86.1%	91.9%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 循環型社会の構築	主管部局・所属	生活環境部 廃棄物対策課
関係部局・所属	生活環境部	市民生活課	生活環境部 環境先進都市推進課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	3R活動を推進し、高効率発電によるごみのエネルギー化を進めるとともに、最終処分場が不要なごみ処理システムの導入により、循環型社会の構築を目指す。	現状	①ごみ量が減らない。 ②資源化率が上がらない。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
市の責務である一般廃棄物を適正に処理する必要がある。	一般廃棄物の適正処理		高	1
一人1日当たりのごみ量が県内他市と比して多い。	一般廃棄物の減量化の推進		中	2
分別収集を徹底しているが資源化率が上がらない。	資源化の促進		低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 市民一人1日当たりのごみ排出量	986 (H30) マイナス指標設定	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	906	867	850	850 (R6)	g
(イ) 資源化率	10 (R1)		24	26	27	27 (R6)	%
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 年 度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
		4 年 度		1,360,878		
			1,341,237			
5 年 度			1,494,478			
			1,465,386			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R4 当初予算額	R5 当初予算額
				R4 決算額	R5 決算額
1-1	4・2・2 一般廃棄物適正処理事業	廃棄物対策課	5.50	1,226,117	1,371,841
1-2	4・1・4 環境美化及び保護事業	廃棄物対策課	1.60	43,554	36,869
2-1	4・2・2 一般廃棄物減量化推進事業	廃棄物対策課	3.00	10,452	15,183
2-2	2・1・12 食品ロス削減推進事業	市民生活課	0.76	2,964	2,378
3-1	4・2・2 資源化促進事業	廃棄物対策課	3.00	77,791	68,207
合計			13.86	1,360,878	1,494,478

7 R5事業費の分析（差額＝「R5年度当初予算額」－「R5年度決算額」）

※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R5成果指標の分析（成果指標の平均達成率）

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>



11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	3 快適な生活環境の形成	① 循環型社会の構築

事業の概要				
戦略	1	一般廃棄物の適正処理	予算 1,408,710 千円	前年度 1,269,671 千円
事務事業	1-1	一般廃棄物適正処理事業	予算 1,371,841 千円	前年度 1,226,117 千円
内容				
1-1_一般廃棄物の適正処理				
① ごみ出し支援 (36,242 千円 (前年度 34,024 千円))				
ア ごみ指定袋の無料交付				
2歳未満の子の養育者、公的支援措置として紙おむつの交付を受けている障害者等を対象に「ごみ指定袋」を無料交付する。				
イ ふれあい収集の実施 (うち 28,217 千円)				
ごみ出しが困難な一人暮らし等の高齢者や障害者を対象に、ごみの戸別回収及び希望に応じ安否確認を行う。				
ウ ライター・電池の拠点回収 (うち 607 千円)				
エ ごみステーション収集用ボックス等整備補助 (うち 7,257 千円)				
		区 分	補助率	補助限度額
		ごみ収集用ボックス	2分の1	20万円
		ごみ散乱防止用ネット	3分の2	5万円
オ ごみステーション管理台帳の整備 (うち 161 千円)				
② ごみの適正収集 (1,312,416 千円 (前年度 1,168,379 千円))				
ア 家庭系ごみの収集 (うち 1,307,301 千円)				
(ア) 市内約 3,000 か所のごみステーションからのごみを収集、運搬 (うち 1,075,072 千円)				
(イ) ごみ指定袋・処理券の作成、販売 (うち 232,229 千円)				
イ 一般廃棄物適正排出指導の実施 (うち 5,115 千円)				
(ア) 適正排出指導員を 2 人配置 (うち 4,846 千円)				
(イ) ごみの適正排出を指導 (うち 269 千円)				
③ ごみの分別・収集方法の啓発 (243 千円 (前年度 198 千円))				
ア SNS を活用したごみ出しの啓発				
イ 事業系アパート・マンション向けごみ出しチラシの作成、配布 (うち 243 千円)				
【新】ウ 事業系ごみブック外国語版の作成、配布				
④ 液状一般廃棄物の収集支援 (22,940 千円 (前年度 23,516 千円))				
ア 安芸津地域の液状一般廃棄物収集業者への補助 (うち 22,940 千円)				
補助額：収集量 1 リットルあたり 4 円 (市民の負担軽減)				

事業の概要				
戦略	1	一般廃棄物の適正処理	予算 1,408,710 千円	前年度 1,269,671 千円
事務事業	1-2	環境美化及び保護事業	予算 36,869 千円	前年度 43,554 千円
内容				
1-2_環境美化及び保護への取組み				
① 環境美化活動 (1,797 千円 (前年度 1,582 千円))				
ア きれいなまちづくりキャンペーンの実施 (うち 890 千円)				
			(清掃活動する市民)	
イ 環境美化強化地域の清掃 清掃地域：9 地域 (うち 907 千円)				
② 不法投棄防止活動 (28,278 千円 (前年度 35,792 千円))				
ア 不法投棄防止看板の製作 (うち 864 千円)				
看板：360 枚				
イ 不法投棄パトロール及び不法投棄ごみの回収 (うち 20,149 千円)				
市内を 4 ブロックに分け不法投棄の監視パトロール及び不法投棄ごみの回収を行う。				
			(不法投棄現場にて回収作業)	
ウ 不法投棄ごみの処理 (うち 1,265 千円)				
広島中央環境衛生組合で処理できない処理困難物の処理を行う。				
エ 不法投棄されない環境づくり (うち 6,000 千円)				
(ア) 監視カメラの設置				
(イ) 不法投棄防止フェンスの設置 (うち 6,000 千円)				
設置延長 150m				
③ 公衆衛生推進団体の育成支援 (6,794 千円 (前年度 6,180 千円))				
環境と健康をコミュニティで守るために組織された公衆衛生推進協議会の育成・支援を行う。				
ア 地域活動費補助 (うち 3,000 千円)				
イ 環境活動費補助 (うち 3,794 千円)				
環境保全監視員 94 名により不法投棄監視パトロール、ごみの収集を行う。				

事業の概要					
戦略	2	一般廃棄物の減量化の推進	予算	17,561 千円	前年度 13,416 千円
事務事業	2-1	一般廃棄物減量化推進事業	予算	15,183 千円	前年度 10,452 千円

内容

2-1_一般廃棄物の減量化の推進

① ごみの減量化の促進 (8,775 千円 (前年度 7,559 千円))

ア ごみの減量化に関するコンテストの開催 (うち 1,136 千円)

ごみ減量化に関するコンテスト (アイデア) を開催する。

イ 啓発活動の実施 (うち 1,350 千円)

(ア) ごみ減量化に係る啓発広告の掲載 (うち 817 千円)

(イ) 広報紙、FM 東広島等を活用した広報活動

【新】 (ウ) 減量化、資源化啓発パネルの作成及び展示 (うち 533 千円)

ウ ごみ減量出前講座の開催

3 R、広島中央エコパーク、ごみ分別種等に関する講座を開催する。

【活動指標】

派遣回数 20 回

※R3 実績 51 回、R4 実績 18 回 (見込)

エ 生ごみ処理容器等の購入費補助・貸出し (うち 5,408 千円)

【拡】 (ア) 生ごみ処理容器購入費補助の対象拡大 (うち 4,679 千円)

近年の需要の高まりに合わせ、これまで補助対象とならなかったキエーロやコンポストバッグ等を補助対象に加える。

現 行	拡充後	補助率	補助限度額
コンポスト容器 ミミズコンポスト容 器及び EM 菌処理容器 (容量等の制限あり)	生ごみ処理容器 (キエーロやコンポス トバッグ等を含める)	3 分の 2	5,000 円

【活動指標】

生ごみ処理容器購入費補助数 259 個

※R3 実績 195 個、R4 実績 150 個 (見込)



・キエーロ

黒土の中のバクテリアを利用し、生ごみを消滅させ
土に戻す生ごみ処理容器

事業の概要

(イ) 生ごみ処理機の貸出し（うち 74 千円）



（電気式生ごみ処理機）

(ウ) 事業所用生ごみ処理機補助制度の見直し検討（うち 255 千円）

- 【新】 (I) 大型生ごみ処理機展示・見学イベントの開催（うち 400 千円）
生ごみが消滅していく過程などを実際に見学できるイベントを開催する。

【新】 オ 生ごみ処理容器利用講習会の開催（うち 881 千円）

消滅型生ごみ処理容器（キューロ）に係る講習会を開催し、各家庭での実践状況等についてモニターを行う。

・募集定員 30 世帯（2 回×15 世帯）

② 一般廃棄物の分析調査（6,408 千円（前年度 2,893 千円））

ア 事業系ごみのごみ質の分析（うち 6,408 千円）

事業系ごみのごみ質の分析（組成分析）を実施する。

事業の概要					
戦略	2	一般廃棄物の減量化の推進	予算	17,561 千円	前年度 13,416 千円
事務事業	2-2	食品ロス削減推進事業	予算	2,378 千円	前年度 2,964 千円

内容

2-2_食品ロス削減の推進

① 食品ロス削減啓発の取組み (2,100 千円 (前年度 2,614 千円))

ア 食品ロスゼロ運動の実施 (うち 1,600 千円)

食品ロス削減に係る川柳等の募集及びパンフレットの配布等を行う。



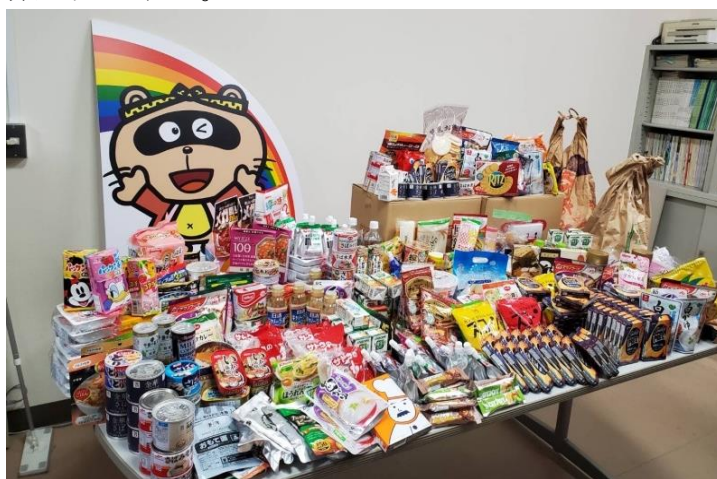
(R4 食品ロス川柳コンテスト表彰式)

イ 食品ロス削減協力店への取組み (うち 500 千円)


食品ロス削減に係る啓発グッズやポスターを配付する。

② フードドライブの実施 (278 千円 (前年度 350 千円))

食品ロスとなりうる食品を回収し、福祉施設等に分配するフードドライブ事業を実施する。



(R4 フードドライブ事業で集まった食品の一部)

事業の概要				
戦略	3	資源化の促進	予算 68,207 千円	前年度 77,791 千円
事務事業	3-1	資源化促進事業	予算 68,207 千円	前年度 77,791 千円
内容				
3-1_ゼロエミッション（資源循環）の推進				
① 食品リサイクルループの構築（29,286 千円（前年度 40,051 千円））				
ア 給食センターの生ごみたい肥化（うち 13,527 千円）				
イ 飲食料品等小売業が行う食品残渣の資源化への支援（うち 13,000 千円）				
ウ ミミズコンポストの活用によるたい肥化の啓発（うち 2,759 千円）				
② 資源回収団体等への活動支援（23,117 千円（前年度 25,117 千円））				
資源回収を実施する団体へ回収量に応じた報償金を交付する。				
・報償金 10 円/kg				
③ 有価物の回収促進（4,041 千円（前年度 3,584 千円））				
ア 古布・古着・小型家電の拠点回収（うち 3,964 千円）				
市役所本庁・支所・出張所等の拠点において古布・古着・小型家電を回収する。				
【拡】イ おさがりコーナーの設置（うち 77 千円）				
小さくて着られなくなった子どもの衣類を募り、他の子どもで適した衣類であれば無料で持ち帰ることができる拠点を整備し、残った衣類は回収する。				
・回収拠点：市内子育て拠点 3 箇所				
④ 剪定枝の資源化促進（10,769 千円（前年度 8,049 千円））				
剪定枝破砕車（タウンビーバー）を利用者宅等へ派遣する。				
【活動指標】				
派遣回数 240 回 ※R3 実績 159 回、R4 実績 190 回（見込）				
⑤ 資源循環に対する市民意識の向上（994 千円（前年度 990 千円））				
ア 市ホームページにおける啓発マンガの連載（うち 326 千円）				
				
燃やせるごみの大部分である生ごみを有効利用！ 浮いたごみ袋代で野菜の苗を買うウルボーッ！！				
（R4 第 2 話「たい肥化させて美味しい生活」から抜粋）				
【新】イ 啓発マンガの冊子化（うち 668 千円）				
啓発マンガを冊子にし、配布する。				
⑥ 廃棄物減量化等推進員の活動支援				
廃棄物減量化等推進員（リサイクル推進員）を対象に廃棄物処理施設の見学会・勉強会を実施する。				

令和 5 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	3 快適な生活環境の形成
施策の将来の目標像	一般廃棄物の減量化と資源化推進等により循環型社会が構築されるとともに、市民の生活に不可欠な安全な水の提供や、公共用水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	市民一人1日当たりのごみ排出量	986g	850g
	汚水処理人口普及率	86.1%	91.9%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 水の安定供給	主管部局・所属	生活環境部 環境先進都市推進課
関係部局・所属	地域振興部 豊栄支所地域振興課	地域振興部	河内支所地域振興課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	安全で良質な水を安定的に供給する。	現状	現状は安定供給できているが将来に向けて多くの課題がある。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
専用水道施設、飲料水供給施設の持続可能性を確保する必要がある。	専用水道施設、飲料水供給施設の維持管理		中	1
永続的に良質な水を安定供給するため、水質管理及び施設の維持管理の徹底と水道施設や管路の整備更新、耐震化を計画的に進める必要がある。	水道事業の推進(広島県水道広域連合企業団へ移行)			

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 水の年間安定供給日数(計画修繕等による停止を除く)	365 (R3)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	365	366	365	365 (R6)	日
(イ)	()					()	
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R4年度			12,115			
			10,004			
R5年度			16,541			
			14,495			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R4 当初予算額	R5 当初予算額
				R4 決算額	R5 決算額
1-1	4・1・4 専用水道等運営事業	環境先進都市推進課	0.26	12,115	16,541
合計			0.26	12,115	16,541

7 R5事業費の分析（差額＝「R5年度当初予算額」－「R5年度決算額」）

※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R5成果指標の分析（成果指標の平均達成率）

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	3 快適な生活環境の形成	② 水の安定供給

事業の概要			
戦略	1 専用水道施設、飲料水供給施設の維持管理	予算 16,541 千円	前年度 12,115 千円
事務事業	1-1 専用水道等運営事業	予算 16,541 千円	前年度 12,115 千円
内容			
1-1_専用水道施設、飲料水供給施設の維持管理			
<p>① 専用水道等運営事業の推進（16,541 千円（前年度 12,115 千円））</p> <p>豊栄中央住宅団地専用水道施設、河内町大仙地区飲料水供給施設について適切に維持管理を行い、安全で良質な水を安定的に供給する。</p> <p>ア 豊栄中央住宅団地専用水道施設の管理運営（うち 12,860 千円）</p> <p>（ア）広島県水道広域連合企業団委託業務（維持管理業務、水道使用料徴収事務）</p> <p>（イ）水質検査業務</p> <p>（ウ）受水槽、浄水設備施設管理業務</p> <p>（エ）水道施設の毎日水質検査、毎日施設点検業務</p> <p>（オ）消耗品費、光熱水費、通信運搬費、修繕料等</p> <p>・鍛冶屋配水ポンプ修繕、清武取水ポンプ修繕等</p> <p>イ 河内町大仙地区飲料水供給施設の管理運営（うち 3,681 千円）</p> <p>（ア）広島県水道広域連合企業団委託業務（維持管理業務、水道使用料徴収事務）</p> <p>（イ）水質検査業務</p> <p>（ウ）受水槽、浄水設備施設管理業務</p> <p>（エ）水道施設の毎日水質検査、毎日施設点検業務</p> <p>（オ）消耗品費、光熱水費、通信運搬費、修繕料等</p>			

令和 5 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	3 快適な生活環境の形成
施策の将来の目標像	一般廃棄物の減量化と資源化推進等により循環型社会が構築されるとともに、市民の生活に不可欠な安全な水の提供や、公共用水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値（H30年度）	目標値（R6年度）
	市民一人1日当たりのごみ排出量	986g	850g
	汚水処理人口普及率	86.1%	91.9%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 公共用水域の水質保全	主管部局・所属	下水道部 下水道管理課
関係部局・所属	下水道部 下水道建設課	下水道部	下水道施設課
	生活環境部 環境先進都市推進課	地域振興部	河内支所地域振興課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市域の汚水を適正に処理し、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図る。	現状	東広島市汚水適正処理構想に基づき、下水道整備事業及び小型浄化槽設置整備事業を進めているが、単独浄化槽・くみ取り槽の件数が多数残り、生活雑排水が未処理のまま公共用水域に入っている。	
課題		仮説に基づく戦略		寄与度 戦略No.
下水道未普及地域の早期解消と今後到来する下水道処理施設等の老朽化に伴う改築需要の増加に対応していく必要がある。		下水道事業の推進		中 1
下水道等整備区域外から発生する生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する必要がある。		浄化槽設置整備の促進		中 2
河内町小田地区に設置した特定地域生活排水処理施設を適切に管理する必要がある。		特定地域生活排水処理施設の運営管理		中 3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(ア) 下水道処理人口普及率	47.2 (H30)	上段: 目標値 中段: 実績値 下段: 達成率	51.3	52.3	53.4	53.4 (R6)	%
(イ) 小型浄化槽設置基数 (改築分)	92 (H30)		130	130	130	130 (R6)	基
(ウ) 法定検査受検率	76.7 (H30)		78.1	78.3	78.5	78.5 (R6)	%

5 コスト情報

目的別事業群事業費（千円）	一般会計等	R4年度		R5年度		
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算額	
目的別事業群事業費（千円）	事業費	73,313		117,236		
		一般財源	19,265		43,146	
	人件費	R4年度		R5年度		
	公営企業会計	R4年度		R5年度		
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算額	
		収益的収入	5,332,824		5,900,348	
		収益的支出	4,797,402		5,625,899	
		差引	535,422		274,449	
		当年度純利益(又は純損失)	236,312		△ 16,054	
		資本的収入	4,645,192		4,635,523	
		資本的支出	6,203,007		6,363,400	
	差引	△ 1,557,815		△ 1,727,877		
	人件費	R4年度		R5年度		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款項目_事務事業	所属	人役	R4 当初予算額	R5 当初予算額
				R4 決算額	R5 決算額
1-1	下水道事業【下水道事業】	下水道部	45.00	11,000,409	11,989,299
2-1	4・1・4 浄化槽設置整備事業	環境先進都市推進課	1.97	61,592	106,433
3-1	1・1・1 特定地域生活排水処理施設管理事業【特排特会】	環境先進都市推進課	0.30	11,721	10,803
合計			47.27	11,073,722	12,106,535

7 R5事業費の分析 (差額 = 「R5年度当初予算額」 - 「R5年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。		
差額	分析	
8 R5成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題	課題を踏まえた今後の取組方針	
	-	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	3 快適な生活環境の形成	③ 公共用水域の水質保全

事業の概要					
戦略	1	下水道事業の推進	予算	11,989,299 千円	前年度 11,000,409 千円
事務事業	1-1	下水道事業 【下水道事業】	予算	11,989,299 千円	前年度 11,000,409 千円

内容

下水道事業会計

1-1_下水道事業の効率化、経営健全化の取組み

① 下水道経営の健全化 (2,056,059 千円 (前年度 1,740,332 千円))

下水道サービスを継続して安定的に提供していくため、施設の適切な維持管理、使用料の収納率向上のための滞納整理、未接続者への普及啓発活動に取り組み、経営の健全化を図る。

- ・ 処理場管理 (うち 1,758,525 千円)
- ・ 管渠・ポンプ場管理 (うち 201,930 千円)
- ・ 使用料徴収事務委託 (うち 83,604 千円)
- ・ 水洗便所改造資金貸付金 (うち 12,000 千円)

② 計画的、効率的な施設の建設と更新

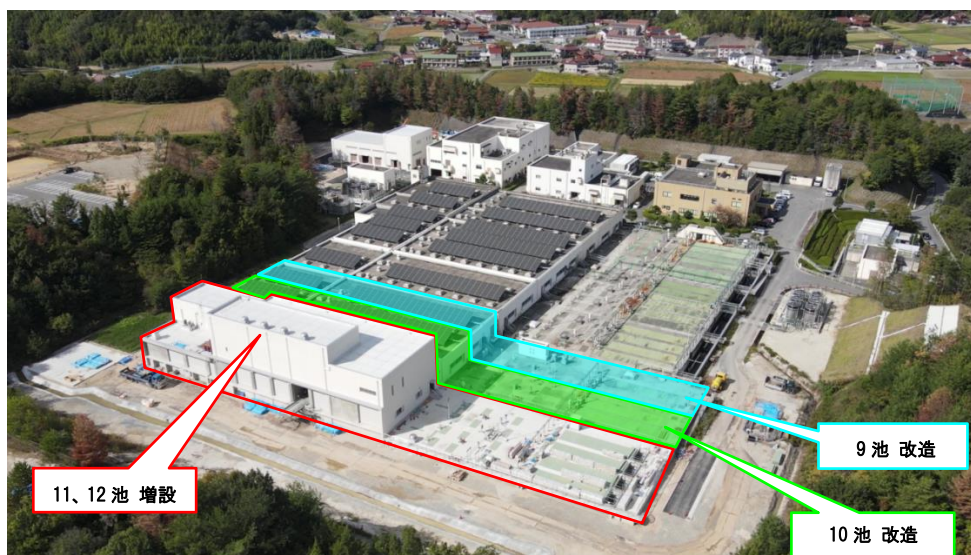
(4,095,300 千円 (前年度 4,142,100 千円))

ア 東広島浄化センター改造工事 (うち 695,000 千円)

流入水質の変化に対応するため東広島浄化センターの改造工事を行う。

- ・ 東広島浄化センター10池改造の土木建築、機械電気工事等
(概算事業費 4,049,000 千円 (9、10池改造))

年度	R4	R5	R6	R7	R8
10池改造	設計	工事			
9池改造				工事	



(東広島浄化センター：令和4年10月撮影)

事業の概要

イ 未普及解消整備計画に基づく污水管渠整備工事（うち 2,585,700 千円）
早期に未普及地域を解消するため、下水道未普及解消整備計画に基づく污水管渠の整備を行う。

- ・污水管渠実施設計業務（うち 284,100 千円）
- ・污水管渠建設工事（うち 2,058,500 千円）
- ・污水管渠建設工事（工事負担金）（うち 93,000 千円）
- ※西条第二地区道路工事、八本松駅前区画整理事業との合併施工分
- ・マンホールポンプ建設工事（うち 150,100 千円）

【活動指標】 令和 5 年度未普及地域の污水管渠整備延長：8,163m

【污水处理人口普及率】

- ・市内全域における、公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水及び浄化槽の污水处理施設の普及状況の指標
- ・目標値（令和 17 年度末）・・・100%
- 下水道（特定環境保全公共下水道、農業集落排水含む）・・・65.9%
- 浄化槽・・・34.1%

【下水道処理人口普及率】

- ・下水道未普及解消整備計画においては下水道処理人口普及率を成果指標としている（目的別事業群総括管理シート成果指標）
- 令和 5 年度目標値・・・52.3%
- 算定式＝下水道整備済区域内人口/東広島市行政人口

ウ ストックマネジメント計画に基づく施設更新（うち 774,600 千円）
下水道サービスを継続して安定的に供給するため、ストックマネジメント計画に基づく施設の更新を行う。

- ・ストックマネジメント実施設計業務（うち 27,300 千円）
- ・ストックマネジメント工事（うち 747,300 千円）

エ 污水管渠の改築（うち 40,000 千円）

雨天時の不明水による終末処理場の浸水被災を防止するため、不明水対策として污水管渠の改築を行う。

- ・板城地区農業集落排水管渠実施設計業務等（40,000 千円）

③ 災害に強い下水道の構築（122,000 千円（前年度 69,000 千円））

ア 下水道施設の耐震対策（うち 122,000 千円）

災害を未然に防止し、被害を最小限に食い止めるため、下水道施設の耐震化を図る。

- ・東広島浄化センター耐震診断業務（うち 55,000 千円）
- ・管路施設耐震診断調査等業務（うち 67,000 千円）

事業の概要					
戦略	2	浄化槽設置整備の促進	予算	106,433 千円	前年度 61,592 千円
事務事業	2-1	浄化槽設置整備事業	予算	106,433 千円	前年度 61,592 千円
内容					
2-1_浄化槽設置整備の促進					
① 浄化槽設置整備の促進 (106,433 千円 (前年度 61,592 千円))					
ア 小型浄化槽設置補助 (改築) (うち 47,304 千円)					
単独浄化槽又はくみ取り槽から合併浄化槽へ切り替える個人住宅に対し、設置費用の一部を補助する。					
浄化槽 区分	補助限度額	予定基数	交付見込額	国補助金 (1/2)	県補助金 (1/3)
5人槽	332 千円	86 基	28,552 千円	14,276 千円	9,517 千円
7人槽	414 千円	40 基	16,560 千円	8,280 千円	5,520 千円
10人槽	548 千円	4 基	2,192 千円	1,096 千円	731 千円
合計		130 基	47,304 千円	23,652 千円	15,768 千円
【拡】イ 単独浄化槽・くみ取り槽転換に伴う槽撤去・配管工事費補助 (うち 51,600 千円)					
単独浄化槽又はくみ取り槽から合併浄化槽へ切り替える個人住宅に対し、槽の撤去費用、配管工事費用の一部を補助する。					
(ア) 単独浄化槽撤去の補助限度額の増 (うち 900 千円)					
環境省の浄化槽転換促進支援策に伴い、単独浄化槽撤去の補助限度額を「90 千円」から「120 千円」に増額する。					
(イ) くみ取り槽撤去・配管工事費補助の追加 (うち 39,000 千円)					
環境省の浄化槽転換促進支援策に伴い、くみ取り槽の撤去 (補助限度額 90 千円) と配管工事 (補助限度額 300 千円) に対する補助を追加する。					
区分	補助限度額	予定基数	交付見込額	国補助金 (1/2)	
単独浄化槽撤去	120 千円	30 基	3,600 千円	1,800 千円	
くみ取り槽撤去	90 千円	100 基	9,000 千円	4,500 千円	
配管工事	300 千円	130 基	39,000 千円	19,500 千円	
合計			51,600 千円	25,800 千円	
【拡】ウ 人口減少地域における定住促進に対する補助					
補助金交付対象区域内で、人口減少地域に所在する単独浄化槽又はくみ取り槽から合併浄化槽へ切り替える個人住宅に対し、設置費用、槽の撤去費用、配管工事費用の一部を補助する。					
なお、設置費用補助、槽の撤去費用補助、配管工事費用補助で計上した予算の範囲内で補助を行う。					
・補助限度額 100 千円					

事業の概要

エ 浄化槽の法定検査の受検推進等（うち 2,578 千円）

（7）法定検査受検指導

法定検査の未受検者等を対象に、受検指導を実施する。

（イ）浄化槽現況調査、普及啓発

浄化槽の現況調査、普及啓発活動を実施する。

【活動指標】

法定検査受験率：78.3%

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3 (速報値)
受検率(%)	71.8	76.3	75.3	76.3	76.2	79.4

オ 大型浄化槽施設改修等事業費補助（うち 4,951 千円）

住宅団地の大型浄化槽施設の改修等に対し、費用の一部を補助する。

団地名	事業費	市補助額 (1/2)
SAIJOU リバーサイドハイツ (西条町郷曾)	9,902 千円	4,951 千円

事業の概要

戦略	3	特定地域生活排水処理施設の運営管理	予算 10,803 千円	前年度 11,721 千円
事務事業	3-1	特定地域生活排水処理施設管理事業【特排特会】	予算 10,803 千円	前年度 11,721 千円

内容

3-1_特定地域生活排水処理施設の運営管理

① 特定地域生活排水処理施設の管理運営(10,803 千円(前年度 11,721 千円))

河内町小田地区に設置した特定地域生活排水処理施設を適切に運営・維持管理する。

(対象 132 基、うち 123 基が現在稼働中、廃止 3 基、休止 6 基)

令和 5 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	4 豊かな自然環境の保全
施策の将来の目標像	地域の自然環境の持つ価値や機能が十分に認識され、豊かな自然環境を維持・保全することで、市民の健康で快適な暮らしが維持され、自然と調和した潤いのある社会が形成されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	「良好な水辺環境などの水資源があるまち」として満足している市民の割合	25%	60%
	「空気のきれいさ」に対して満足している市民の割合	70%	90%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 豊かな自然環境の保全	主管部局・所属	生活環境部 環境先進都市推進課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	良好な生活環境の保全や生物多様性の維持	現状	市民の環境意識の低下への懸念	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
市街化の進展に伴う環境悪化が懸念される	環境汚染の未然防止		高	1
犬・猫に関する苦情が多く、適正な飼養と飼い主のマナー向上を図る必要がある	犬・猫の適正な飼養の促進		低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 環境基準達成率	86.7 (R1)		88.5	89.0	90.0	90.0 (R6)	%
(イ) 狂犬病予防注射接種率	75.0 (R1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	76.8	77.4	78.0	78.0 (R6)	%
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	4		44,471			
	5		23,351			
	4		45,328			
	5		21,926			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R4 当初予算額	R5 当初予算額
				R4 決算額	R5 決算額
1-1	4・1・4 環境保全事業	環境先進都市推進課	3.96	33,258	33,888
2-1	4・1・2 狂犬病予防事業	環境先進都市推進課	1.60	11,213	11,440
合計			5.56	44,471	45,328

7 R5事業費の分析（差額＝「R5年度当初予算額」－「R5年度決算額」） ※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R5成果指標の分析（成果指標の平均達成率）

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	4 豊かな自然環境の保全	① 豊かな自然環境の保全

事業の概要				
戦略	1 環境汚染の未然防止	予算	33,888 千円	前年度 33,258 千円
事務事業	1-1 環境保全事業	予算	33,888 千円	前年度 33,258 千円
内容				
1-1_環境汚染の未然防止				
① 環境監視による地域環境の維持・向上 (30,671 千円 (前年度 30,020 千円))				
ア 環境監視の実施 (うち 29,969 千円)				
大気・水質・騒音などの環境調査を実施し、環境を監視する。調査結果は環境白書やホームページで公表する。				
項目	内容	事業費		
公共用水域水質調査	黒瀬川や沼田川等の河川、安芸津海域及び地下水の水質調査を行う (43 地点)。	14,143 千円		
大気環境調査測定	市役所等の測定場所で大気中の汚染物質の測定を行う (13 地点)。	5,770 千円		
自動車騒音常時監視及び環境騒音調査	市内の自動車騒音や環境騒音の実態を調査し、騒音公害防止のための基礎資料とする。(自動車騒音 16 路線、環境騒音 115 地点)	4,400 千円		
工場排水水質検査	工場等の特定施設に立ち入り調査し、公共用水域に排出される放流水の確認や指導を行う (のべ 95 事業所)。	2,145 千円		
有害汚染物質等継続調査	廃棄物処分場跡地等の経過観察や、公害発生のおそれのある地点の継続監視を行う (12 地点)。	2,245 千円		
臭気指数測定調査	悪臭公害防止のため、悪臭防止法に基づく測定と指導を行う。	297 千円		
イ 環境審議会の運営 (うち 702 千円)				
環境の保全や創出に関する基本的事項を調査・審議する。				
② 市民の環境意識の向上 (3,217 千円 (前年度 3,238 千円))				
ア 各種啓発活動の継続				
第 2 次東広島市環境基本計画の年次報告書として、東広島市の環境 (環境白書) をとりまとめ、本市の環境調査結果や各主体の活動を公表するとともに、出前講座や、ひがしひろしまこどもエコ探検隊等の環境学習の機会を充実させる。また Town & Gown Office (TGO) と連携し、地域の貴重な自然環境に関する情報を把握しながら、地域に広報や啓発を行う。				
(出前講座開催回数及び参加人数)				
年度	R1	R2	R3	R4※
開催回数 (回)	17	13	14	19
参加人数 (人)	644	564	274	866
※R4 は R5.1 月末時点				

事業の概要								
戦略	2	犬・猫の適正な飼養の促進	予算	11,440 千円	前年度	11,213 千円		
事務事業	2-1	狂犬病予防事業	予算	11,440 千円	前年度	11,213 千円		
内容								
2-1_犬・猫の適正な飼養の促進								
① 犬・猫の適正な飼養の促進 (11,440 千円 (前年度 11,213 千円))								
ア 狂犬病予防の推進 (うち 3,198 千円)								
<p>狂犬病予防注射接種率の向上のため、動物病院との連携や、集合注射の実施 (57 会場)、全登録者への案内通知、未受診者への督促通知、広報啓発 (12 回) を行う。</p> <p>(狂犬病予防注射の接種状況) (単位：件)</p>								
注射の区分	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 (12 月末時点)				
登録数	9,144	9,354	9,383	9,602				
集合注射	1,564	267	358	395				
個別注射	5,290	6,552	6,607	5,982				
注射合計	6,854	6,819	6,965	6,377				
接種率	75.0%	72.9%	74.2%	66.4%				
イ 犬・猫など愛護動物の正しい飼い方の推進 (うち 3,600 千円)								
<p>動物愛護についての普及・啓発のため、広島県、動物愛護ボランティアとの連携によるイベントの開催、譲渡犬猫の不妊去勢手術に係る経費の補助を行う。</p> <p>(犬猫譲渡会の参加人数) (単位：人)</p>								
年度	R1		R2		R3		R4	
	6 月	10 月	6 月	10 月	6 月	10 月	6 月	10 月
人数	500	1,800	中止	1,100	中止	2,000	900	1,700
<p>※R1. 10 月は広島県主催「どうぶつ愛護の集い」、R3. 10 月、R4. 10 月は市主催「環境フェア」と同日開催。</p> <p>(譲渡犬猫不妊去勢手術費補助金交付状況)</p>								
年度	R3 実績	R4 (1 月末時点)	R5 予算					
申請数	12 件	15 件	—					
補助額	1,148 千円	1,021 千円	2,500 千円					
犬	2 頭	5 頭	100 頭					
猫	86 頭	71 頭						
ウ 野良犬・猫対策 (うち 4,642 千円)								
(7) 野良犬対策								
<ul style="list-style-type: none"> ・広島県動物愛護センターとの連携による保護活動の実施 ・野良犬保護器の貸出しによる保護・搬送 								

事業の概要

(保護器設置・搬送等の件数) (単位：件)

年度	R1	R2	R3	R4 (12月末時点)
件数	146	130	118	53

(イ) 野良猫対策

- ・広島県が推進する地域猫活動についての広報等による周知
- ・地域猫活動を実施する地域と県との調整・協議
- ・地域猫活動団体への補助金交付

(地域猫活動団体申請数) (単位：件)

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4 (1月末時点)	計
件数	1	3	7	3	8	4	4	30

(地域猫活動費補助金交付状況)

年度	R3 実績	R4 (1月末時点)	R5 予算
申請数	4件	4件	10件
補助額	80千円	80千円	200千円

令和 5 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	5 市民協働のまちづくりによる地域力の向上
施策の将来の目標像	共通の目的の実現や地域課題の解決のため、コミュニティ活動や地域の特性を踏まえた取組みが活発に展開され、多様な市民・団体等が相互に連携・協力しながら活動、活躍することにより、地域の持つ力が向上しています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	地域コミュニティ活動への参加率	67%	75%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 市民協働のまちづくりによる地域力の向上	主管部局・所属	地域振興部 地域づくり推進課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民協働のまちづくりによる地域力の向上	現状	住民の地域コミュニティ活動の参加率及び住民自治協議会の認知度が低い。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
住民自治協議会等の持続性の強化(担い手・後継者育成、加入促進等)に向けた支援が必要	住民自治協議会等の状況に応じた活動支援		高	1
老朽化した地域センターの改修、地区拠点施設の機能向上が必要	活動拠点の充実		低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 地域コミュニティ活動への参加率	67.0 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	73.8	75.0	75.0	75.0 (R6)	%
(4) 住民自治協議会の認知度	65.6 (R1)		68.0	69.0	70.0	70.0 (R6)	%
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R4年度		1,389,272				
		391,247				
R5年度		1,578,689				
		546,354				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R4 当初予算額	R5 当初予算額
				R4 決算額	R5 決算額
1-1	2・1・9 市民協働推進事業	地域づくり推進課	6.90	253,220	257,603
1-2	2・1・9 ふるさと寄附金運営事業	地域づくり推進課	0.95	308,090	817,411
2-1	2・1・9 地域活動拠点整備事業	地域づくり推進課	2.66	760,390	458,719
2-2	2・1・9 コミュニティ推進事業	地域づくり推進課	2.44	67,572	44,956
合計			12.95	1,389,272	1,578,689

7 R5事業費の分析（差額＝「R5年度当初予算額」－「R5年度決算額」）

※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R5成果指標の分析（成果指標の平均達成率）

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	5 市民協働のまちづくりによる地域力の向上	① 市民協働のまちづくりによる地域力の向上

事業の概要					
戦略	1 住民自治協議会等の状況に応じた活動支援	予算	1,075,014 千円	前年度	561,310 千円
事務事業	1-1 市民協働推進事業	予算	257,603 千円	前年度	253,220 千円

内容

1-1_市民協働の推進

① 住民自治協議会等の持続可能な活動の支援

(196,889 千円 (前年度 190,990 千円))

市民協働のまちづくりの更なる発展を図るための具体的な施策に取り組む。

【拡】ア 地域づくり推進交付金の交付 (うち 181,442 千円)

地域を代表する組織である住民自治協議会が特色あるまちづくりに取り組むことを促進するために、地域づくり推進交付金を交付する。

また、住民自治協議会のまちづくり計画の更新等の促進や、避難行動要支援者避難支援プランにおける個別計画の策定促進※1、地域共生社会の推進をテーマにしたイベント等の実施支援※2 に向けて新たな支援メニューを創設する。

※1 05-1-① 3-2 避難行動要支援者対策事業

※2 05-5-③ 2-1 地域共生活動の場づくり推進事業に予算計上

イ 市民協働のまちづくり活動応援補助金の交付 (うち 10,000 千円)

市民活動団体等が行う地域の課題解決及び魅力向上につながる公益的な活動に対し、補助金を交付することで、市民協働のまちづくりを推進する。



イルミネーションによるにぎわいの創出



健康づくりを中心としたウォーキング

市民協働のまちづくり活動応援補助金 採択事業

事業の概要

ウ 市民協働のまちづくり講演会等の開催（うち 1,364 千円）

市民協働のまちづくりの全国的な先進的な事例を学び、共有する「まちづくり講演会」に加え、市民協働のまちづくり第4期行動計画の策定に向けた意見交換会を開催する。



夢トーク（八本松地域）の様子

エ 市民協働のまちづくり第4期行動計画の策定（うち 4,083 千円）

市民協働のまちづくりの推進に向けた第4期の行動計画（令和6年度～）の策定に取り組む。

② 担い手の発掘（28,508 千円（前年度 30,192 千円））

都市地域から協力隊員を過疎地域等に呼び込み、地域の課題解決や魅力創造などの地域協力活動を行いながら、その地域への定住、定着を図る。

ア 地域おこし協力隊の配置と活動支援（うち 26,508 千円）

協力隊員の地域活動を伴走的に支援するとともに、任期を終える隊員の後任を配置する。

【参考】配置人数：豊栄町1名、河内町1名、安芸津町2名

（令和5年1月1日時点）



地域おこし協力隊の活動の様子

事業の概要

イ 定住のための起業等支援（うち 2,000 千円）

任期を終える隊員が定住し起業をする場合は、起業等支援補助金を交付する。

③ 地域活動団体による住民自治協議会等のサポート、連携の促進

（28,553 千円（前年度 28,581 千円））

まちづくりの多様な担い手の活動を維持し、発展させていくため、地域活動団体による住民自治協議会等のサポートや連携を促進する。

ア 市民協働センターの管理運営（うち 9,217 千円）

「市民と市民」、「市民と行政」の協働の拠点として、市民活動や担い手の交流・ネットワーク作りを支援し、市民協働のまちづくりを推進する。

イ 市民協働のまちづくりを推進する人材の配置（うち 9,474 千円）

市民協働センター専門員及び協働支援員を配置し、住民自治協議会や市民活動団体の活動の支援や連携のコーディネート等を支援する。

ウ 広島大学の学生を対象とした「まちづくり実践講座」の開講

（うち 718 千円）

まちづくりの核となる学生の養成に向けて、広島大学と連携し、広島大学の1～2年生を対象に、座学とフィールドワークによる集中講座（授業）を開講する。



まちづくり実践講座（座学）の様子



まちづくり実践講座（フィールドワーク）の様子
（棕梨川（豊栄町）での生態観察）

事業の概要

エ 「学生協働支援隊」による地域おこしのきっかけづくり

(うち 9,144 千円)

住民自治協議会のまちづくりに学生の力を活かすために結成した学生協働支援隊により、地域おこしのきっかけづくりに取り組む。



学生協働支援隊の活動

(福富町上戸野地区 梅の里プロジェクト)



学生協働支援隊の活動

(西条町御菌宇地区 つながる御菌宇導入支援)

④ 市民活動情報の共有の促進 (1,584 千円 (前年度 1,626 千円))

まちづくりの多様な担い手による活動の情報発信や情報共有を支援し、地域でのつながりや愛着を持つきっかけづくりを推進する。

ア 市民活動情報サイトの運営 (うち 1,584 千円)

市民活動に係る情報サイトを引き続き運営することで、市民活動団体等の情報の発信・共有を促進する。



市民活動情報サイトすきかもトップページ

事業の概要					
戦略	1	住民自治協議会等の状況に応じた活動支援	予算	1,075,014 千円	前年度 561,310 千円
事務事業	1-2	ふるさと寄附金運営事業	予算	817,411 千円	前年度 308,090 千円

内容

1-2_ふるさと寄附金制度の活用

地域活動の財源確保のため、ふるさと寄附金制度を運営し、活用を図る。

① 専門サイトの活用及び返礼品の拡充（817,411 千円（前年度 308,090 千円））

ふるさと寄附金運営サイトに掲載する返礼品の拡充やクラウドファンディングの活用を通して、財源確保や本市特産品のPR、魅力の発信等を図る。



東広島市ふるさと寄附金に係る返礼品（一例）

事業の概要

戦略	2	活動拠点の充実	予算	503,675 千円	前年度	827,962 千円
事務事業	2-1	地域活動拠点整備事業	予算	458,719 千円	前年度	760,390 千円

内容

2-1_地域活動拠点の整備

市民協働のまちづくりを推進するため、地域センター等を住民自治協議会及び生涯学習の活動拠点として整備・充実させるとともに、大規模改修により長寿命化を図る。

① 地域センター等の整備・改修（458,719 千円（前年度 760,390 千円））

ア 寺西地域センター屋根外壁改修工事（うち 115,000 千円）

老朽化している寺西地域センターの長寿命化を図るため、屋根・外壁の改修工事を実施する。



寺西地域センター

	R 4	R 5	工事概要
設 計	→		R 5 事業内容：屋根外壁修繕工事
工 事		→	

イ 下見福社会館エレベーター更新工事（うち 27,682 千円）

老朽化している下見福社会館のエレベーター設備の更新を実施することにより、環境の改善を図り、利用者の安全性を向上させる。



下見福社会館

	R 4	R 5	工事概要
設 計	→		R 5 事業内容：エレベーター更新工事
工 事		→	

事業の概要

【新】ウ 環境に配慮した地域センターの管理運営 (5,290 千円)

(ア) 地域センター空調更新 (うち 5,070 千円)

老朽化した地域センターの空調設備の更新について、ESCO 事業を活用して実施することにより、センターの環境を改善し、利用者の利便性の向上を図る。

【対象施設】 郷田地域センター、平岩地域センター、高屋東地域センター

<ESCO事業とは>

エネルギーサービスカンパニーの略で、設備の高効率化を図り、光熱水費の削減を進めていく事業のこと。

(イ) 地域センターの照明LED化 (うち 220 千円)

地域センターの環境を改善するため、事業効果が見込める施設の照明について、リース方式によりLED化を行う。

【対象施設】 川上地域センター

エ 地域センター駐車場整備用地調査(うち 1,000 千円)

駐車場が不足している東志和地域センターについて、駐車場の拡張の可能性を検討するため用地鑑定等の調査を行う。

オ 高屋西地域センター等複合施設の用地取得、設計及び造成工事

(うち 183,583 千円)

公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化している高屋西地域センターを高屋中央保育所と複合化し、新たな地域活動の拠点として移転新設するため、用地の取得、設計及び造成工事を行う。

内容	R 4	R 5	R 6	R 7	事業概要
用地取得	→				R 5 事業内容：用地取得、 造成設計、 建築設計、 造成工事
造成設計	→				
建築設計		→			
造成工事			→		
建築工事				→	

カ 高美が丘地域センター空調更新工事 (うち 40,000 千円)

老朽化した高美が丘地域センターの空調設備の更新を実施することにより、センターの環境を改善し、利用者の利便性の向上を図るため、空調更新工事を行う。

	R 4	R 5	事業概要
設 計	→		R 5 事業内容：空調更新工事
工 事		→	

- キ 宇山地域センター大ホール（体育館）解体工事(うち 66,630 千円)
大ホールの代替施設として多目的ホールを令和 2 年度に建設したことから、老朽化した大ホールの解体工事を行う。



宇山地域センター大ホール（体育館）

- ク 河戸地域センター解体工事（うち 19,534 千円）
令和 3 年 4 月に河戸地域センターを旧河内西小学校に移転したことから、老朽化した旧センターの解体工事を行う。



旧河戸地域センター

事業の概要																													
戦略	2	活動拠点の充実	予算	503,675 千円	前年度 827,962 千円																								
事務事業	2-2	コミュニティ推進事業	予算	44,956 千円	前年度 67,572 千円																								
内容																													
2-2_コミュニティの推進																													
<p>住民主体によるコミュニティ活動を支援するため、その活動拠点となる集会施設の整備や集会施設を管理する自治会、住民自治協議会、住民組織等に対して、整備に関連する補助等を行うことにより、地域におけるコミュニティづくりを推進する。</p>																													
<p>① 市有集会施設等の整備及び維持管理（15,246 千円（前年度 29,913 千円）） 政策的に市が設立し、継続して保有する集会所の改修及び施設の修繕、維持管理等を行う。</p>																													
<p>【令和5年度事業（主なもの）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○下三永集会所改修設計(3,300 千円) ○前長沢集会所耐震診断(3,500 千円) ○鉄南コミュニティホーム解体工事(3,600 千円) ○妙見ヶ丘コミュニティホーム解体工事(2,600 千円) 																													
																													
下三永集会所			前長沢集会所																										
<p>② 集会施設整備費の補助（19,710 千円（前年度 30,159 千円））</p>																													
<p>ア 住民組織自らが行う集会施設の整備（新築・改築・修繕等）に対する補助金交付</p>																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助対象</th> <th>件数</th> <th>補助率</th> <th>限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改築</td> <td>2</td> <td>1/2</td> <td>650 万円</td> </tr> <tr> <td>修繕</td> <td>17</td> <td>1/2</td> <td>50 万円</td> </tr> </tbody> </table>						補助対象	件数	補助率	限度額	改築	2	1/2	650 万円	修繕	17	1/2	50 万円												
補助対象	件数	補助率	限度額																										
改築	2	1/2	650 万円																										
修繕	17	1/2	50 万円																										
<p>イ 集会施設の適正配置を進めるための譲渡集会施設の整備（改築・修繕等）に対する補助金交付</p>																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助対象</th> <th>件数</th> <th>補助率</th> <th>限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改築</td> <td>1</td> <td>3/4</td> <td>650 万円</td> </tr> <tr> <td>修繕</td> <td>5</td> <td>10/10</td> <td>100 万円</td> </tr> <tr> <td>解体</td> <td>0</td> <td>10/10</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>下水道接続</td> <td>0</td> <td>10/10</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>登記</td> <td>5</td> <td>10/10</td> <td>全額</td> </tr> </tbody> </table>						補助対象	件数	補助率	限度額	改築	1	3/4	650 万円	修繕	5	10/10	100 万円	解体	0	10/10	全額	下水道接続	0	10/10	全額	登記	5	10/10	全額
補助対象	件数	補助率	限度額																										
改築	1	3/4	650 万円																										
修繕	5	10/10	100 万円																										
解体	0	10/10	全額																										
下水道接続	0	10/10	全額																										
登記	5	10/10	全額																										

事業の概要

- ③ 一般コミュニティ助成事業（10,000 千円（前年度 7,500 千円））
（財）自治総合センターが宝くじの普及・広報の一環として実施している一般コミュニティ助成事業を活用して、住民自治協議会に対し、地域のイベントや日常の活動に必要な資器材・備品等の購入費を助成する。
上限 2,500 千円（助成率 10/10）× 4 団体
- ④ 地縁団体の設立支援及び認可
集会所等の不動産を所有することとなる自治会等に対し、地縁団体の設立支援及び申請に基づく地縁団体の認可を行う。

令和 5 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	6 多文化共生と国際化の推進
施策の将来の目標像	言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生の社会が実現しています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R 1 年度)	目標値 (R 6 年度)
	「東広島市での暮らし」に満足している外国人市民の割合	84.7%	90.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 言語・文化等の違いによらない円滑な暮らしの実現	主管部局・所属	生活環境部 市民生活課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生社会の実現	現状	外国人：必要な情報を入手できない等により、生活に困り事がある人がある 日本人：外国人市民が多く暮らすことに不安を感じている人がある	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
情報提供の充実や多言語対応、相談対応など外国人市民の生活支援	外国人市民の生活環境の充実		中	1
地域住民や同国出身者とのつながりの希薄さや、外国人市民の活躍の場の不足	外国人も共に活躍できる環境づくり		中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 外国人新規転入世帯に対する生活オリエンテーション実施率	33.0 (H30)		45.0	48.0	51.0	51.0 (R6)	%
(4)	()	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率				()	
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	4 年度		33,213			
			12,195			
	R 5 年度		32,548			
			8,915			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R4 当初予算額	R5 当初予算額
				R4 決算額	R5 決算額
1-1	2・1・7 外国人市民受入体制等整備事業	市民生活課	1.23	23,373	22,744
1-2	2・1・7 コミュニケーション支援事業	市民生活課	0.30	6,259	6,506
1-3	2・1・7 国際化推進プラン推進事業	市民生活課	0.20	153	184
2-1	2・1・7 外国人市民地域参画促進事業	市民生活課	0.30	3,428	3,114
合計			2.03	33,213	32,548

7 R5事業費の分析（差額＝「R5年度当初予算額」－「R5年度決算額」） ※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R5成果指標の分析（成果指標の平均達成率）

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	6 多文化共生と国際化の推進	① 言語・文化の違いによらない円滑な暮らしの実現

事業の概要				
戦略	1 外国人市民の生活環境の充実	予算	29,434 千円	前年度 29,785 千円
事務事業	1-1 外国人市民受入体制等整備事業	予算	22,744 千円	前年度 23,373 千円

内容

1-1_外国人市民の受入体制等の整備

外国人市民が個性と能力を発揮し、安心して快適に暮らすことができるようにするために、受入体制等を整える。

① 相談体制の充実（12,680 千円（前年度 12,700 千円））

ア 外国人コミュニケーションコーナーの運営

コミュニケーションコーナーを開設し、多言語で生活相談に応じるほか、生活支援やイベント等各種情報を提供する。

(ア) 多言語による相談窓口の開設（英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語）

相談時間	半日 ×回数	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日		日曜日	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
英語	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
中国語	4	○		○									○	○	
ポルトガル語	2					○						○			
ベトナム語	2							○							○

- (イ) 多言語による無料法律相談の実施（毎月1回/1回あたり3人×45分）
- (ウ) 海外の情報誌や書籍を閲覧できる情報コーナーの開設
- (エ) 対象者の特性に応じたツールを活用した情報発信



(多言語による相談窓口)



(情報コーナー)

② 情報提供の充実（8,284 千円（前年度 9,233 千円））

ア 生活オリエンテーションの実施（うち 687 千円）

新規転入の外国人へ必要な各種行政サービスや生活習慣、ルール等を説明するオリエンテーションを実施し、円滑な生活のスタートを支援する。

事業の概要

- (ア) 転入手続き等来庁時のオリエンテーション（庁内窓口で随時実施）
- (イ) 留学シーズンにおける大学への出張オリエンテーション（随時実施）
- (ウ) 事業所等への出張オリエンテーション（希望により随時実施）
- イ 相談機能の充実・行政資料等の多言語化の推進（うち 7,266 千円）
行政国際化推進員の配置による窓口通訳、行政資料等の多言語化を推進する。（通年 1 名）
- ウ 各種行政窓口等における多言語対応の充実（うち 331 千円）
自動翻訳ツールの配備により多言語対応の充実を図る。（15 台配備）

（iPad 配備所属）管財課、市民税課、収納課、国保年金課（2）、こども家庭課、保育課、学事課、地域共生推進課、医療保健課、青少年育成課、市民生活課（2）
（ポケトーク配備所属）市民課（2）



（庁内窓口での生活オリエンテーション）（大学での生活オリエンテーション）

③ 多様な人材の活躍支援（1,780 千円（前年度 1,440 千円））

- ア 私費留学生等への支援
市内に在住する私費留学生等に対し、奨学金等の経済的支援を行う。

事業の概要					
戦略	1	外国人市民の生活環境の充実	予算	29,434千円	前年度 29,785千円
事務事業	1-2	コミュニケーション支援事業	予算	6,506千円	前年度 6,259千円
内容					
1-2_コミュニケーション支援					
① 日本語教室等の開催 (6,448千円 (前年度 6,227千円))					
ア にほんごきょうしつ東広島Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (各週2回)、漢字 (週1回) (うち 4,025千円)					
日本語教師がレベルに応じて授業を実施する教室型の日本語教室を実施する。					
イ にほんごわいわい (週1回・西条2クラス、八本松・黒瀬・安芸津各1クラス) (うち 972千円)					
ボランティアとの会話をとおして、日本語習得を支援する交流型の日本語教室を実施する。					
ウ One-to-Oneにほんご (随時)					
ボランティアと外国人市民が1対1で日本語での会話をとおして、外国人の日本語習熟度を高めるとともに、相互の国際理解を深める。					
エ にほんごひろばU-18 (小学生向け週2回、中高生向け週2回) (うち 1,207千円)					
外国人児童生徒を対象に、日本語学習や教科学習の支援及び居場所づくりに取り組む。					
【拡】オ オンライン日本語教室 (うち 244千円)					
教室型の日本語教室へ通うことが困難な子育て世代の外国人市民に対し、コミュニケーション中心のオンライン日本語教室を実施する。					
					
(にほんごきょうしつ東広島)			(にほんごわいわい)		
② 「やさしい日本語」の普及促進 (58千円 (前年度 32千円))					
ア 市職員への「やさしい日本語」研修の実施					
窓口等での外国人市民とのコミュニケーションを円滑にするため、幹部職員も含めた市職員に、外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」の普及に向けた研修を実施する。					
【活動指標】					
実施回数 2回					
※R3 実績 1回、R4 実績 1回 (見込)					

事業の概要				
戦略	1	外国人市民の生活環境の充実	予算 29,434 千円	前年度 29,785 千円
事務事業	1-3	国際化推進プラン推進事業	予算 184 千円	前年度 153 千円
内容				
<p>1-3_国際化推進プランの推進</p> <p>審議会を開催し、第3次国際化推進プランの取組に対する実施状況の検証等を行う。</p> <p>① 国際化推進プラン審議会の開催（184 千円（前年度 153 千円））</p>				

事業の概要				
戦略	2	外国人も共に活躍できる環境づくり	予算 3,114 千円	前年度 3,428 千円
事務事業	2-1	外国人市民地域参画促進事業	予算 3,114 千円	前年度 3,428 千円
内容				
<p>2-1_外国人市民の地域参画の促進</p> <p>外国人市民が地域とつながることにより、安心して生活し、地域社会で活躍できるよう啓発を行う。</p> <p>① 地域活動への参加促進（2,896 千円（前年度 3,196 千円））</p> <p>ア 多文化共生コーディネーターの配置</p> <p>外国人市民の地域活動への参加を促進するため、多文化共生コーディネーターを配置し、地域の国際交流を支援する。</p> <p>② 市民への意識啓発（218 千円（前年度 232 千円））</p> <p>ア 「やさしい日本語」講座の実施</p> <p>外国人集住地域等で「やさしい日本語」講座を実施するほか、各地域の自治会や地域行事等を紹介する外国人市民向け啓発資料の作成等を行う。</p> <p>【活動指標】</p> <p>実施回数 2 回</p> <p>※R3 実績 1 回、R4 実績 2 回（見込）</p>				

令和 5 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	6 多文化共生と国際化の推進
施策の将来の目標像	言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生の社会が実現しています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R1年度)	目標値 (R6年度)
	「東広島市での暮らし」に満足している外国人市民の割合	84.7%	90.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 国際交流と相互理解の促進	主管部局・所属	生活環境部 市民生活課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	友好都市・親善都市等との都市間交流や、地域に暮らす日本人・外国人市民の交流機会の創出により、市民の国際感覚の醸成と異文化理解の促進を図る	現状	外国人：交流したいと思っているが交流できていない人がいる、地域住民との交流がなく地域に溶け込めていない人がいる 日本人：外国人市民が多く暮らすことに不安を感じている人がいる	
課題	誰かが参加しやすい交流機会が少なく異文化理解が十分でない 交流を支える団体間のつながりが十分でない	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
		交流による異文化理解の促進	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R4	R5	R6		
(7) 多文化共生事業参加者数	3,027 (H30)		3,400	3,500	3,600	3,600 (R6)	人
(イ) 「東広島国際フェスタ」参加者数	2,400 (R3)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	2,500	2,600	2,700	2,700 (R6)	人
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	R 4 年度		9,782			
			2,805			
	R 5 年度		9,370			
			1,684			

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	6 多文化共生と国際化の推進	② 国際交流と相互理解の促進

事業の概要					
戦略	1	交流による異文化理解の促進	予算	9,370 千円	前年度 9,782 千円
事務事業	1-1	国際交流推進事業	予算	7,961 千円	前年度 8,490 千円

内容

1-1_国際交流の推進

外国人市民と日本人市民が相互理解のもと、共に市民として暮らす多文化共生のまちづくりを実現するために、多様な市民の交流を推進し、国際感覚の醸成と相互理解を深める。

① 交流機会の創出と活動の支援 (7,402 千円 (前年度 7,851 千円))

※H I C = (公財) ひろしま国際センター

ア 誰もが参加しやすい交流機会の創出 (うち 6,622 千円)

(ア) 国際化推進協議会による交流事業 (東広島国際フェスタ等)

交流団体、学生、企業等様々な個人・団体と連携し、誰もが参加しやすい国際交流イベント等を開催する。また、多様な交流団体や個人が連携することで、相互協力の体制づくりやネットワークの充実を図り、国際交流活動の活性化に繋げる。

(イ) H I C と連携した多文化共生事業 (子ども英語村、東広島バスツアー、子育て交流会等)

外国人市民、日本人市民の交流機会の提供を行うことにより、地域の国際化や多文化共生を推進する。

イ 新たなつながり作りのための交流機会の創出 (うち 780 千円)

広島大学の国際交流拠点施設「ミライクリエ」を活用し、定期的に交流の場を設け、外国人市民の国別コミュニティの形成や市民との交流を促進する。

【活動指標】

実施回数 4 回

※R3 実績 3 回、R4 実績 5 回 (見込)

ウ 交流団体が実施する事業の情報発信等の支援

広報紙や国際化推進協議会の HP 等を活用し、随時、情報を発信する。



(ミライクリエでの交流)



(東広島国際フェスタ)

事業の概要

② 意識啓発、異文化理解の促進（419千円（前年度463千円））

ア 外国人市民への意識啓発、異文化理解の促進（うち125千円）

(7) 国際化推進協議会による交流事業（日本伝統文化体験ワークショップ）
外国人市民を対象に日本文化紹介・体験の交流会を行い、異文化理解を促進する。

イ 日本人市民への意識啓発、異文化理解の促進（うち294千円）

(7) H I Cと連携した多文化共生事業（やさしい日本語講座）

異文化理解のきっかけづくりとして、日本人市民に対して、「やさしい日本語」講座等を実施して意識啓発を行う。

【活動指標】

実施回数 2回

※R3 実績 2回、R4 実績 2回（見込）

(4) 徳陽市紹介事業

パネル展示等により、日本人市民に対して友好都市である中国徳陽市の紹介を行う。



(日本伝統文化体験ワークショップ)



(子育て交流会)

③ 交流を支える団体への支援及び人材の育成（140千円（前年度176千円））

ア 国際交流関係団体への支援（うち90千円）

イ 国際交流ボランティア登録促進及び研修会実施（うち50千円）

【活動指標】

実施回数 3回

※R3 実績 2回、R4 実績 5回（見込）

団 体 名
東広島市国際化推進協議会
東広島市日中親善協会
東広島市日韓親善協会
広島ベトナム平和友好協会
広島アセアン協会

(主な関係交流団体)



(国際交流ボランティア研修会)

事業の概要									
戦略	1	交流による異文化理解の促進	予算	9,370 千円	前年度 9,782 千円				
事務事業	1-2	都市間交流推進事業	予算	1,409 千円	前年度 1,292 千円				
内容									
1-2_都市間交流の推進									
<p>友好都市である中国徳陽市からの定期訪問団受入れをはじめとした、海外都市との交流を推進する。</p> <p>① 中国徳陽市からの定期訪問団等の受入れ(1,409 千円(前年度 1,292 千円))</p> <table border="1"> <tr> <td>友好提携日</td> <td>1993 年 (平成 5 年) 10 月 14 日</td> </tr> <tr> <td>近年の交流状況</td> <td> <p>■ 東広島市→徳陽市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018 年 (平成 30 年) 10 月 30 日～11 月 2 日 高垣市長ほか定期訪問団 (通訳含む 7 名) を徳陽市へ派遣。 <p>■ 徳陽市→東広島市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2019 年 (令和元年) に来日予定であったが、新型コロナウイルスの影響等により延期。 <p>※定期訪問団については、友好提携年 (1993 年) を基準とし、互いに 5 年毎に派遣。</p> </td> </tr> </table>						友好提携日	1993 年 (平成 5 年) 10 月 14 日	近年の交流状況	<p>■ 東広島市→徳陽市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018 年 (平成 30 年) 10 月 30 日～11 月 2 日 高垣市長ほか定期訪問団 (通訳含む 7 名) を徳陽市へ派遣。 <p>■ 徳陽市→東広島市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2019 年 (令和元年) に来日予定であったが、新型コロナウイルスの影響等により延期。 <p>※定期訪問団については、友好提携年 (1993 年) を基準とし、互いに 5 年毎に派遣。</p>
友好提携日	1993 年 (平成 5 年) 10 月 14 日								
近年の交流状況	<p>■ 東広島市→徳陽市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018 年 (平成 30 年) 10 月 30 日～11 月 2 日 高垣市長ほか定期訪問団 (通訳含む 7 名) を徳陽市へ派遣。 <p>■ 徳陽市→東広島市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2019 年 (令和元年) に来日予定であったが、新型コロナウイルスの影響等により延期。 <p>※定期訪問団については、友好提携年 (1993 年) を基準とし、互いに 5 年毎に派遣。</p>								

令和5年度 分野別基盤事業（予算）シート

まちづくり大綱

2 暮らしづくり

内容

<総務部（経営戦略担当分）>

(1) 地域情報化の推進（116,700 千円（前年度 115,857 千円））【2 款 1 項 8 目】

① 情報通信基盤の整備（うち 114,078 千円）

ア 通信・放送サービスを提供するための引込線の敷設

市が整備・所有する情報通信基盤（光ファイバーケーブル網）を用いて公設民営方式により提供するインターネット接続サービス又はケーブルテレビ視聴サービスについて、サービス利用契約者に対してサービスが利用できる環境を整備する。

イ 情報通信基盤の保守等

情報通信基盤の修繕、支障移転などの保守・維持管理を行う。

② 公衆無線 LAN の運営（うち 2,622 千円）

公共施設に公衆無線 LAN 機器を設置し、施設利用者が手軽にインターネットを利用できる環境を確保する。

<地域振興部>

【拡】(1) 地域センター等の管理運営

(339,402 千円（前年度 347,159 千円））【2 款 1 項 9 目】

① 地域センター及び地区拠点施設の維持管理（うち 92,286 千円）

市内 37 地域センター（うち直営は 8 施設）及び 11 地区拠点施設の維持管理を行う。

② 地域センター職員の配置（うち 44,231 千円）

地域センターの管理運営、住民自治協議会事務の補助及び生涯学習活動を行う職員（センター長、事務職員、事務補助員）を配置する。

③ 地域センターの指定管理（うち 202,885 千円）

地域センターでの活動をより活発なものとするため、地域の状況に応じた運営ができるよう地域センターに指定管理者制度を導入する。（令和 5 年度：29 施設）

<生活環境部>

(1) 生業資金等債権の管理（352 千円（前年度 214 千円））【3 款 1 項 6 目】

① 債権の回収・管理

生業資金等貸付金の債務者（連帯保証人、相続人を含む。）に対して、電話等での納付指導を行うとともに、訪問や口座振替等による債権回収及び債権管理を行う。

(2) 人権センターの管理運営

(38,126 千円（前年度 34,052 千円））【3 款 1 項 6 目】

内容

- ① 人権センターの管理運営（うち 35,973 千円）
市民の福祉向上や人権啓発の推進の拠点となる市内 4 人権センターの維持管理を行う。
 - ② 交流促進講座等の開催（うち 2,153 千円）
市民相互の交流によって本市に生きることが誇りに持てる地域社会づくりに資するため、地域ニーズに即した各種教養・文化活動の講座等を開催する。
- (3) 衛生施設浸水等の対応（750 千円（前年度 750 千円））【4 款 1 項 1 目】
- ① 衛生施設浸水への見舞金（うち 250 千円）
豪雨等の自然災害により、家屋において床上浸水又は床下浸水の被害を受けた世帯に対し、市民の福祉と生活の安定に資するため、浸水見舞金を交付する。
 - ② 衛生施設流入土砂等の撤去（うち 500 千円）
災害救助法適用時において、災害により衛生施設に土砂等が流入した世帯に対し、衛生施設の早期復旧と生活の安定に資するため、流入した土砂等の撤去を行う。
- (4) 斎場の適切な管理運営
(165,330 千円（前年度 143,836 千円））【4 款 1 項 4 目】
- ① 斎場（5 か所）の管理運営、火葬業務
斎場 5 か所（ひがしひろしま聖苑、黒瀬斎場、豊浄苑、河内斎場、安芸津斎場）の維持管理等を行う。
・黒瀬斎場火葬炉設備修繕 22,000 千円 等
- (5) 市営墓地（ひがしひろしま墓園を除く）の貸付、維持管理
(968 千円（前年度 944 千円））【4 款 1 項 4 目】
- ① 市営墓地（5 か所）の管理運営
ひがしひろしま墓園を除く旧町から引き継いだ墓園 5 か所（金口墓園、陰地墓園、中屋谷第 1 墓園、中屋谷第 2 墓園、下河内墓園）の維持管理等を行う。
- (6) 特定地域生活排水処理事業特別会計への繰出金
(3,833 千円（前年度 4,818 千円））【4 款 1 項 4 目】
- ① 特定地域生活排水処理施設の管理運営費への繰出金
市（旧河内町）が設置した小型浄化槽を適切に維持管理するため、使用料収入では賄えない部分に対し、一般会計から繰出しを行う。
- (7) 生活衛生事業の推進（622 千円（前年度 470 千円））【4 款 1 項 4 目】
- ① 生活衛生関係営業施設等に関する事務
生活衛生営業六法関係施設、墓地、専用水道や簡易専用水道、特定建築物や化製場等に関する手続き等の事務を行うとともに、各施設への立入監視指

内容

導や報告聴取によって、適切な衛生管理が行われるよう指導を行う。

広島県からの権限移譲事務	登録数等
理容師法関係（理容所数）	150
美容師法関係（美容所数）	345
旅館業法関係（旅館営業所数）	43
公衆浴場法関係（公衆浴場数）	18
クリーニング業法関係（クリーニング所数）	60
興行場法関係（興行場営業施設数）	7
コインオペレーションクリーニング営業施設の衛生措置等指導要綱関係（コインランドリー営業所数）	48
水道法関係等（専用水道、簡易専用水道、小規模水道施設、小規模貯水槽水道数）	821
建築物における衛生的環境の確保に関する法律関係（特定建築物設置数）	46
温泉法関係（温泉数）	7
墓地、埋葬等に関する法律関係（墓地経営許可数）	8,383
浄化槽法関係（浄化槽設置数）	24,157
有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律関係（有害物質を含有する家庭用品製造販売等の調査検体数）	6
化製場等に関する法律関係（化製場、死亡獣畜取扱場、動物飼養収容施設数）	2

（令和4年12月31日時点）

⑧(8) 広島県水道広域連合企業団への負担金

（75,851 千円（前年度 0 千円））【4 款 1 項 4 目】

① 広島県水道広域連合企業団への負担金

本市及び広島県等、1 県 9 市 5 町が水道事業等を共同で経営することを目的に設立した、広島県水道広域連合企業団の東広島事務所に対し、繰出基準等に基づき負担する。

(9) 清掃管理（720 千円（前年度 686 千円））【4 款 2 項 1 目】

廃棄物の処理及び清掃に係る許認可等事務、関係機関等との連絡調整等を行う。

(10) 広島中央環境衛生組合への負担金

（1,876,691 千円（前年度 1,609,475 千円））【4 款 2 項 1 目】

① 広島中央環境衛生組合の運営等経費への負担金

本市、竹原市及び大崎上島町の 2 市 1 町が一般廃棄物の広域処理を行うために設置した、広島中央環境衛生組合の運営費等を負担する。

(11) ひがしひろしま墓園の貸付、維持管理

（10,900 千円（前年度 10,884 千円））【1 款 1 項 1 目】

（ひがしひろしま墓園管理事業特別会計）

① ひがしひろしま墓園の管理運営

ひがしひろしま墓園の維持管理等を行う。

<建設部>

(1) 地籍調査事業（12,268 千円（前年度 29,689 千円））【6 款 1 項 5 目】

① 地籍調査の実施（うち 10,064 千円）

地籍の明確化を図るため、国土調査法等の関係法令に基づき、西条町郷曾の一部（2.38 km²）において、地籍図原図及び地籍簿案を作成し、一般の閲覧に供するとともに、安芸津町木谷の一部（0.04 km²）において、一筆地調査、一筆地測量等を実施する。

② 地籍調査成果の管理（うち 2,204 千円）

本庁、支所及び出張所で保管する成果物について、引き続き適切な取扱いに努めるとともに、成果の誤り等が判明した場合に迅速な対応を図るなど、一層の適正管理を推進する。

(2) 土木施設管理事務（51,801 千円（前年度 49,568 千円））【8 款 2 項 1 目】

公共土木施設等各施設の維持管理や道路・河川等の各種施設の台帳管理、許認可等事務を行う。

① 駅前広場等施設の維持管理（うち 25,347 千円）

西条駅等の自由通路及び駅前広場（10 か所）、公衆トイレ（7 か所）、及び吉行横断地下道の維持管理を行う。

② 駅前広場等施設の修繕（うち 4,932 千円）

自由通路及び駅前広場等を適切に維持するために必要な修繕を行う。

③ 道路・河川管理に係るデータ更新業務（うち 15,727 千円）

道路河川の入力データ作成、認定道路の台帳整理及び更新を行う。

④ 団地内生活道路市道編入測量費補助（うち 1,760 千円）

法規制前造成団地内道路の市道編入に必要な測量費等経費に対する補助を行う。

⑤ 保険料等（うち 4,035 千円）

道路賠償責任保険等。

(3) 駐車場管理運営事業（163,300 千円（前年度 314,451 千円））【8 款 2 項 1 目】

① 施設の管理運営（うち 84,485 千円）

市内の無料自転車駐車場（20 施設）の清掃、管理及び有料自転車駐車場（5 施設）・有料駐車場（9 施設）の管理を行う。

② 駐車場等の修繕（うち 4,770 千円）

各駐車場の修繕を行う。

③ 駐車場施設の使用料（うち 61,185 千円）

西条岡町駐車場リース料。

④ 自転車駐車場敷地の借地料（うち 3,397 千円）

西条、白市、西高屋各駅前自転車駐車場（4 施設）の借地料。

⑤ 放置自転車の撤去・保管（うち 4,056 千円）（前年度 4,425 千円）

市内の放置禁止区域内の放置自転車及び自転車駐車場内の長期放置自転車等の撤去や保管及び返還を行う。

内容

⑥ 駐車場精算機インボイス対応業務（うち 5,407 千円）

令和 5 年 10 月 1 日から施行されるインボイス制度に対応するため、各駐車場の精算システム及び精算機を改修する。

(4) 電源立地地域の対策（4,950 千円（前年度 4,588 千円））【8 款 2 項 2 目】

棕梨川水力発電所設置による減水区間地域の環境激変緩和のための対策を行う。

① 道路修繕に係る工事（うち 4,922 千円）

七の組循環線ほかの道路舗装修繕工事を行う。

<都市部>

(1) 開発指導事務の適正かつ効率的な実施

(8,971 千円(前年度 14,211 千円))【8 款 5 項 1 目】

- ① 都市計画法に基づく許可・検査及び指導を行う。
- ② 宅地造成等規制法に基づく許可・検査及び指導を行う。
- ③ 国土利用計画法及び公有地の拡大の推進に関する法律の事務処理を行う。
- ④ 開発許可図面の電子化を行う。

(2) 安全・安心な憩いの場となる公園の維持

(584, 876 千円（前年度 562, 229 千円））【8 款 5 項 4 目】

安全・安心な憩いの場となる公園を維持するため、施設の管理や修繕および更新を行う。

- ① 東広島運動公園、憩いの森公園の指定管理（うち 264, 815 千円）
- ② 樹木育成管理（うち 79, 314 千円）
- ③ 清掃等管理（うち 136, 654 千円）
- ④ 施設の修繕・更新（うち 104, 093 千円）

(3) 市営住宅等の管理・運営(99,321 千円(前年度 100,321 千円))【8 款 6 項 1 目】

① 施設の維持修繕(うち 75,748 千円)

指定管理者制度を活用し、市営住宅の維持修繕を行う。

② 市営住宅に係る経常経費(うち 16,482 千円)

市営住宅の土地賃借料及び光熱水費等

③ 住宅使用料等の滞納整理(うち 2,736 千円)

滞納家賃の督促及び臨戸訪問等により滞納整理を行う。

④ 居者情報管理(うち 2,035 千円)

住宅システムの保守等に係る経費

⑤ その他事務(うち 2,320 千円)

市営住宅管理の必要経費（消耗品費、役務費等）

